男女貞潔之理想　會長島田三郎
公娼廢止之主張　副會長安部磯雄

5 — 593

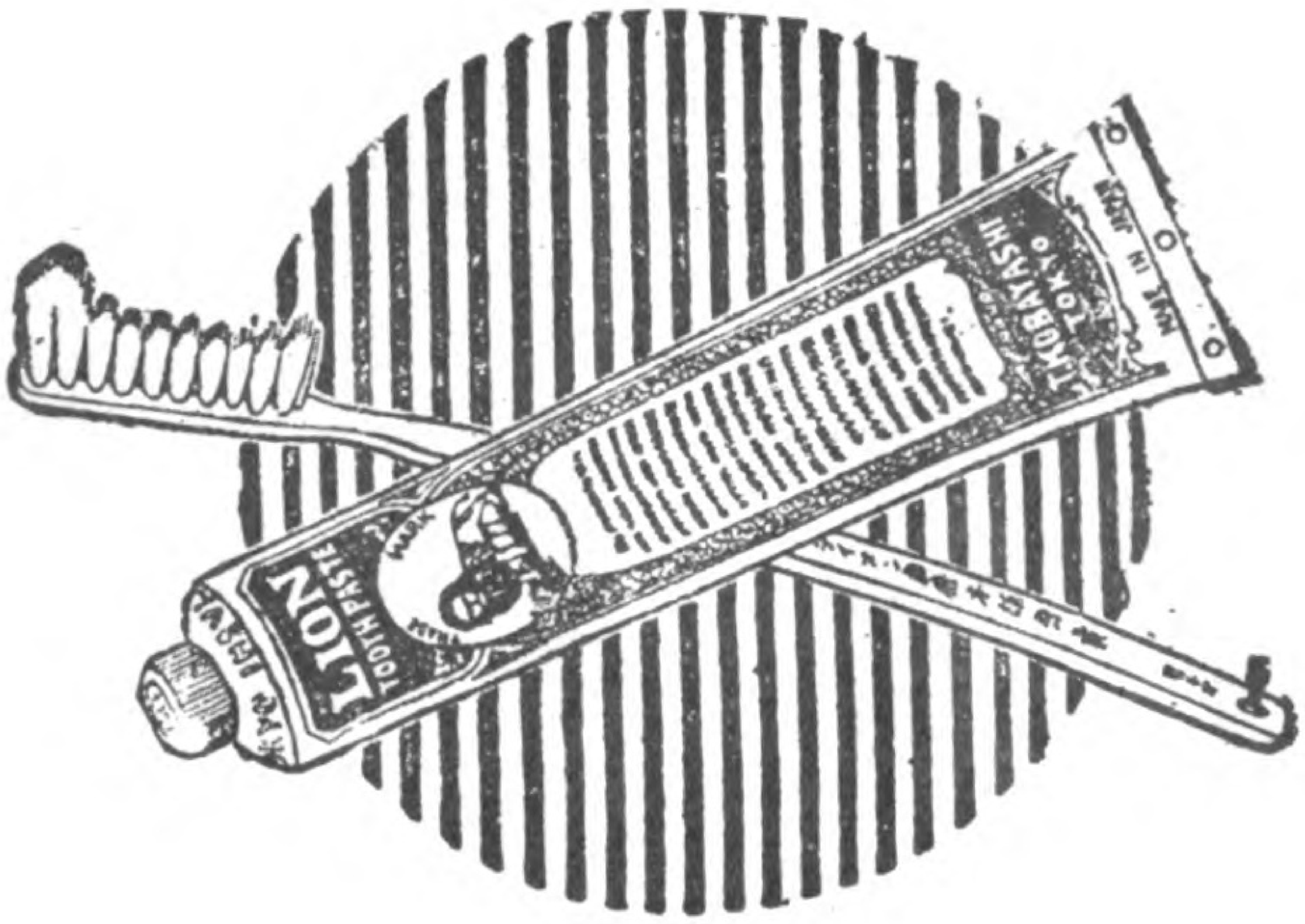
廓清

明治四十四年八月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正九年四月三十日印刷）
（大正九年四月三十日發行）
（每月一回十日發行）

第十卷第四號

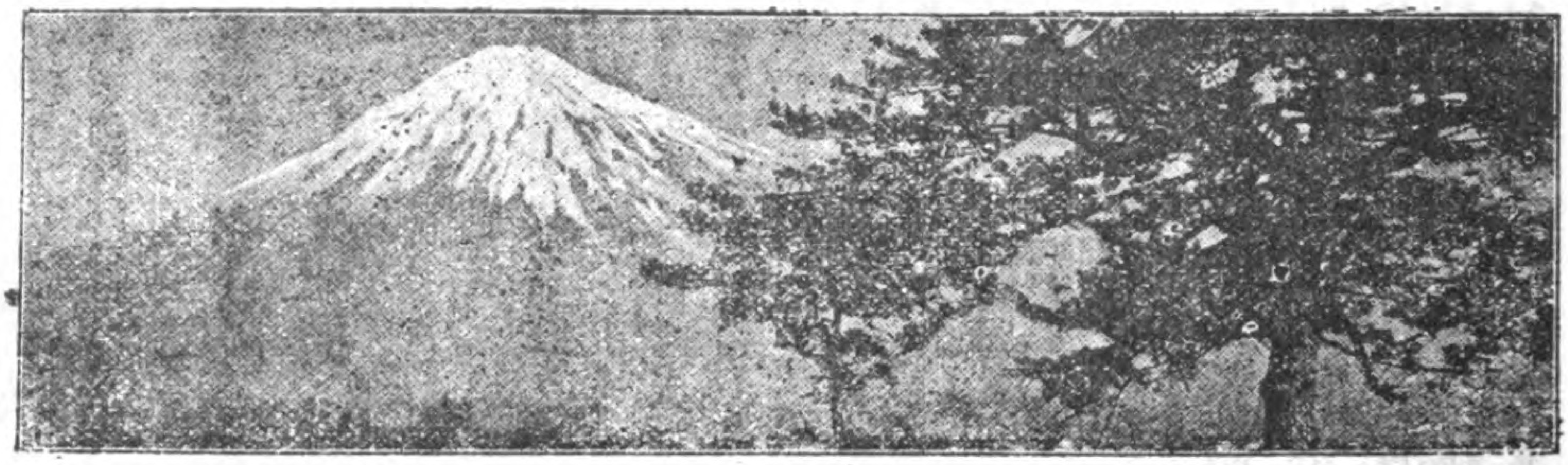
□總選擧に就いて……早大教授 廓清會副會長　安部磯雄
□選擧の理想……宮田女學校長 廓清會評議員　宮田脩
□現今の社會問題と日本の將來……文學博士　井上哲次郎
□獨逸の近況……法學博士　高楠順次郎
□其後の婦人救濟運動……救世軍大佐 廓清會評議員　山室軍平
□これからの娘……廓清會評議員　高島米峰
□禁酒斷行とその效果……貴族院議員 廓清會評議員　江原素六
□賣淫制度廢止檄……陸軍々醫正　牧野康二
□廢娼問題如何……光鹽生
□苦る輪物語……前某醫院看護婦　田口和子

東京　廓清會本部發行



目の覺めるやうな
清新の香味！
最新形式の歯磨
ライオン煉チユーブは
どなたにも喜ばれ
どなたにも好かれ
どなたにも調法が
られてをります。

第十卷　廓清　第四號



總選擧に就いて

早大教授
廓清會副會長　安部磯雄

誤謬れる觀念

政治の改革といふ事は、怎うしても選擧民の改革といふことを意味する。

今では政黨を批難する人があつて、政友會を怎うするとか恁うするとかいふ人があるが、吾々も亦同樣に考えて居る、何とかして政治の局面を開いて往かなければならない。

然らばと言ふて怎うして宜いか。

候補者が金を使つて惡いといふけれど、金を費かはなければ出られぬ狀態にあるのは、有權者が惡いのである。

有權者の態度に就いて考えて見るに、自分の兄弟姉妹とか、若くは緣故者から賴まれゝば、親戚知己からの依賴であるから、其の候補者に投票をしなければならぬといふやうな有樣で、候補者は亦、それ等の緣故者を辿つて有權者に、自己の投票を强いるといふ狀態である。

選擧は、普通に自分の持つて居る財產權などゝ、同一視してはならない。財產權は場合に依れば、他人に與えても差支へはない。それが爲めに社會は何等の害を享けないのである。

選擧權は公權也

社會は、自分の權利を自由に出來るといふのが、抑も誤れる觀念で、今財產權などゝいふものは、自分の持つて居る金とか、觀劇劵などを、人に與えるといふことは、其の人の自由に可能る事である。

けれども、選擧に至つては、これと全く性質の違ふもので、公權であつて全く性質の異ふもので、人が他の人に與えるといふことも亦與えらるゝといふことも、誰が顧むで來たからといふて、

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

直ぐそれに怎うするといふことも間違つて居る。

ところが例へば、甲の方は、五回か來ないが、乙の方は十回來たから、多く來れば投票をして遣らねばならぬといふ選擧民が甚だ多いのである。

戸別訪問の煩

候補者は、有權者を戸別に訪問して、自己に投票を得やうとして來る爲めに選擧人の享くる迷惑は一方でない。商人は、それが爲めに商賣の邪魔もされるのである。けれども候補者が訪問して來るといふ事は、有權者が悪いのである。

有權者は、『私の自由意志で投票するのであるから』と言ふ事が可能るならば、候補者も訪問しなくなるであらう。

一人の候補者が訪問に往かないといふ事になれば、他の候補者も往かなくなるであらう、开うすれば自然、戸別訪問といふ煩はしい迷惑なこともなくなるであらう。

私の考からして觀ると『諾』『否』といふ言が明瞭に言へないのは、日本人の缺點である。

殊に『否』といふことが言へない爲めて、『否』といふことが言ひ得れば、戸別訪問といふことが休む。

選擧界の情弊

戸別訪問が休めば、運動員の必要もなくなる。

選擧には、運動員を選擧の度毎に商賣にして居る者がある。運動員は、選擧を利用して候補者から金を出させる、候補者は之れが爲めに、非常の費用を使用はなければならないのである。

大抵候補者に立つ人は、金を持つて居る人か、他から金を持つて居る人に依つて擁立られる人かであつて、恁ういふ狀態では、相當の識見を持つて居る人でも金の無い人は、候補者として立つ事は可能ない。

而して色々の緣故を辿つて來て、例へば、親戚であるとか目上の人であるとか、开ふいふ人に賴まれたならば、其れ等の人に對しての情誼上斷ることが不可能いと、言ふやうなことては、夫れては不可ないのである。

親戚であるとか、亦は自分の目上の人に對しては、何も投票てなくても、他に恩義を竭すことは可能るのである。

候補者に對して投票するといふことは、投票を與えるのとは違ふ。音樂會の切符とか何かのやうに與えるものではないのである。

投票は、自分の勝手の爲めに與えるものではないのであるから、奈何なる緣故者や、自分が恩義を蒙つて居る目上の人から賴まれても、其れ等に對して、『此れ丈けは與えることが不可能い』と、答え得れば、從つて選擧の情弊は、打破されるのである。

尠なくも、廓清會の會員諸子は、开うして選擧權を行使して貰ひ度い。

开うすれば、次第々々に選擧界の廓清を期することが可能るのである。

金を貰つて投票を爲るといふ事も罪悪であるが、人から賴まれて投票するといふことも亦罪悪である。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

選擧の理想

成女女學校長
廓清會評議員　宮田脩

□立候補の動機

此の度の總選擧に當つて、私が牛込區から立つたことに就いて、種々に揣摩して居る人もあるやうであるが、私の立候補には、左の理由があるのであつて、それを聊か縷述て見度い。

一日友人某が私の宅に訪ねて來て、談偶々選擧界の事情に及び、立候補の意義に至るや、私が『候補者は、自ら名乘りを上ぐべきものでなく、他から推薦せられて、初めて候補者たることが可能るのであつて、而して國民の選良となり得るのである。自ら立候補を宣言して、選擧人に向つて投票を强ゆるのは、決して正當でない。而して何人と雖も他から推薦せられた場合は、之を拒否すべきでなく享くるが當然であり、享けて國政に執掌するは、亦義務である。

斯くしてこそ國民の選良てふ名實相伴ふのである』と語つた時、その友人は、『然らば若し人ありて、足下を推薦したならば、足下は卽座にそれを受けるか』との質問に逢著したのであつた。前言の行き掛り上、私は『その場合は潔く享ける』といふより他に辭はなかつたのであつた。

更らに友人は、『然ば吾々同志は、足下を推薦する』と言ひ放たれたので、私は亦享けすべく餘儀なくされたのである。

此れが私の今回の立候補の動機であり且つ、その聲明に至るまでの經過の全部である。

□一票の價幾何金

私の立つて居る此の牛込區の或る候補者は、最初二百本の立看板を樹てる事を企てた。それは、その看板を立てた家の一票と、その家の向ふ三軒兩隣の中で、二三票は取ることが出來るといふ目算で、そうすれば、二百本も建てれば、それを以て一つの地盤を作り得るといふ作戰なのだそうであるが、而かもその看板には各三十金以上の金が包まれて居るといふから、この他に、運動員の費用を加えたら、一票の價格は、そも幾何金？といふ面白い問題が生じて來る。

此の立て看板は、弊害が甚だ伴ひ易いといふので、既に建てたものは、仕方が無いとしても今後は絶對に禁止したいといふので所轄早稻田警察署長は、神樂坂署長と協議して、夫れ〳〵各候補者へ注意をしたが、それまでは殆んど競爭的に建てられた看板も、それ以來は餘り數を殖やさぬやうになつたやうである。

候補者が、運動員に對して支拂ふ金額は中々尠少でない。或る候補者の處では何時も辨當が、百二三十本も運ばれるといふことであるが洵に夥しい人數である。それ等に相當の日當を支拂つて居るのであるから、候補者も中々大抵の事ではない。

斯く事實に就いて考覈して見ると、彼

等の得る一票といふものは、實に多額の金子が支拂はれて居るのであるから、非常の高價のものとなつて居る譯である。然し此れが、眞の選良を擧べき方法として尤も完全なものと言ひ得るてあらうか。

□種々なる忠告

私が如斯き選擧界に立つたが爲めに友人の中ては、思はざる憶測をして居る人もあるが、亦中には親切に『投票に勝たずとも、已れに勝て』と激勵して吳れる人もある。

此の一語は、啻に逐鹿場裡の訓誨のみならず、吾々が社會に處する上に於ても寔に味ふべきてある。

處が亦中には、世間竝に立看板を建てなくては不可いと言つて、頻に慫慂する人々もある。その時には私も成る程必要があるか、とも思ふこともあるが直に「否已に勝ねば不可ん」と先きの教訓が浮んて來る。

私は私の爲めに立つたのてはなく、混沌たる選擧界の廓清を期したい希望から理想選擧を標榜して立つたのてある。

故に、私は如何なる手段を採つても當選し度いといふやうな野心はない。私は或る人が評した如く、選擧といふものには素人てある。全くの無經驗者てあつて、世の所謂政治屋なるものとは出發點からして違ふのてある。從つて普通の候補者の爲せる、手段を擇ばざるが如き運動方法は、私には絕對に爲し能はないのみならず、運動そのもの丶必要も、私には何の要もない。

□迷惑なる好意

私の學校を卒業した生徒のうちて、或二三の人が、今度私が立つたといふので態々運動の手傳をし度いと心切に訪ねて來て、吳れた。けれど私としては全く運動の必要を認めない以上、此れ等の人に御依賴するといふことも、不可能い譯てお斷りをした處が「夫れては私達は怎うしたら宜敷いてせうか」と悄然として問ねられた。私は「選擧の勝敗は決して考へては居らないから、運動をしてまても票を得やうとは思はない。それ故皆樣はお知り合の方に對しては、宮田は斯く〳〵の理想のもとに立つたのてあると傳えて頂けば宜敷いので、決して宮田に投票して被下いなぞと賴まれては困る、主義の宣傳さへして頂けば宜敷いのてある」と言つて歸へした。

□私の希望

故に私は、別に演說會も催さねば、亦戶別訪問などの煩もない。聲明書の發送はしたが看板なども建てない。從つて一人の運動員も不用なければ多額の費用などの必要もない。私のポケツトマネーの僅かを割いて印刷費と郵送料を支出したに過ぎないのてある。

勿論私は選擧の勝敗なぞは眼中にない唯だ此れに依つて、我が國の選擧人が何の位まて選擧に就いての自覺があるかを見度いのてある。

而して私は、私の如き理想のもとに鹿を逐ふ人の次第に數の殖えてゆくことに依て、吾國の選擧界の廓淸といふことが期待せらるゝと思ふのてある。私は更らに、次の總選擧には例へば安部氏の如き學者を同志と供に推薦して選擧中は候補者に全然沒交涉なる形式に依り最理想的な選擧を行つて見度いと思ふ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

現今の社會問題と日本の將來

文學博士
廓清會評議員　井上哲次郎

□歐洲大戰の原因と結果

現今の、社會問題を論じ尙ほ進んで日本の將來に就て陳べやうと欲ふが、其の關係する所頗る廣汎にして、却々六つかしい難問題である。併し目下研究を要すべき喫緊の問題なるが故に勉めて陳べることゝする。日本及歐米に於ける戰後の社會問題に就て考ふるに、何れも直接大戰爭に基因して起つて來たものである。世は文明に進みて向上發展すべき筈なるに、大戰爭の爲めに却つて退化逆轉の傾向を呈して居る。そして今回の大戰を觀察するならば、道德上の問題が原動力となりたるものにあらずして、各國の權利擴張より起りたるものなることは明白なる事實である。數世紀以前に宗教上の問題より戰爭の起りたる事實のありたることは、歷史の證明する所であるけれども、今回の大戰は利權擴張——今少し露骨に云ふならば宛然たる我慾の暴露したるもので、道德とは全く沒交涉である。墺地利がバルカン半島のゴビナ、ボスニヤを併合することを、獨逸の承認を得て斷行したので、所謂我慾を逞ふしたのである。露國が之を見て從來の關係上忍ぶべからざる一大事となし、抗議を申込み遂に戰爭となり、獨逸も亦露と戰端を開いたのである。又佛國は獨逸に對し積年の深き恨みがあるから、例のアルサス、ローレンを取返す爲めに戰爭を始めたので、何れも利權擴張の爲めである。英國は獨逸が條約を無視したるを名として宣戰したのであるが、其の實戰爭に依つて經濟的勝利を得たいとの意思のあつたことは、蔽ふべからざる事實である。又獨逸は獨逸大帝國を建設せんとの志望を以て、權力主義侵略主義軍國主義を發揮する爲めに戰つたので最も罪が重いのである。唯白耳義だけは同國の一部が獨軍の進み行く道筋であつたのを、獨立國の體面上其の侵入を抗議して開戰したので、前の諸國とは戰爭の意味が違ふのである。

そして大戰の結果どうであるかと云ふならば、墺國は國境を擴張する目的なるに、却つて、著しく縮少せられたる憐むべき小國となり、又獨逸は聯合國の嚴酷なる條約の下に莫大なる負擔と義務を强えられて、果して其の負擔と義務に堪へ得るや否や疑問視せられてゐる。獨墺二國が開戰の當初大抱負を有したる意思と戰後の結果とを對照するならば、實に思ひ半ばに過ぐるものがあつて、偉大なる敎訓を受けたのである。又露國の如きも激烈なる革命勃發して今尙ほ渾沌亂麻の狀態である。又佛英の如き何れも劇甚なる痛手を受けてゐる。實に今回の大戰爭は崇高なる道德心より起りたるものにあらずして、利權獲得又は擴張にあつたのである。故に文化發展と云ふことゝ此利權擴張とは調和することが出來ぬので、所謂逆戾りをしたのである。そして其の反動が起り悔悟の精神が起つて、爾今戰爭は永久に絕滅することの出來る樣にとの希望を有して、例の國際聯盟規約の樣なものが起つたのである。

□歐洲の改造問題と日本の享くる影響

社會改造問題、勞働問題の如き勿論從前より存在したるな

らんも、大戰後に於て急轉直下の勢を以て頗る重大緊切なる問題となつたのである。そして各國の國勢に由りて或は無政府主義或は社會主義或はサンヂカリズム等の諸主義が起て來た。而して是等の主義は眞面目なる道德意義を有して居る。夫れ歐洲に於ける戰後の勞働者は自覺の機會を與へられ、實際運動を惹起すことゝとなつた。それは勞働者の多數が自身戰兵となり、又は軍需品製造に從事したるが爲めである。卽ち勞働者自身が出征の軍人となり又は軍需品製造をしなければ戰爭が出來るものでないとの考へが、一種の自覺と自尊の精神を喚起したのである。又物價騰貴物資缺乏等の爲めに怠業若くは同盟罷業を敢行した。そして之を善導する爲めに勞働問題が起つたのである。尤も勞働者が出征の軍人となり塹壕生活を爲したる爲めに、放縱遊惰其の他不正行爲を誘致したと云ふことも、一面の事實と見ることが出來る。そして戰後に於ける改造問題の叫びは、各交戰國の悔悟の聲であると言ひ得るのである。歐洲人の頭には社會の害毒を除かねばならぬとの思想が起ると同時に、逆轉の爲めに受けたる損失を償ふ以上に、急劇に向上發展せねばならぬと云ふ痛切なる祈願が、改造の聲を促したであらう。

然しながら我日本は歐洲諸國に比し特有の差違がある。歐洲諸國の勞働者の多數が戰爭に出て、又軍需品製造に從事したけれども、日本は格別多數でないから此點が餘程違ふ。次に改造問題に關し考ふるに、今回の大戰の爲めに我日本國民は、斷じて我尊き國體に對し悔悟をなしたりと云ふが如きことはないのである。獨逸帝國の如きは我國と異なり、今迄の國家の組織又は國是ではいけないとの思想は國の內外に起り、此權力主義侵略主義軍國主義を有する帝制を打破する爲めに媾和條約が進められたのである。そして他の交戰國にも略ぼ同樣のものが多くあるのである。

然しながら我國は勞働問題其の他の改造問題に關し、世界の波動を受けたるに由り此機會を利用し大に研究すべき事柄であると思ふ。凡そ改造刷新は何時でも必要である。改造の言葉は歐米の波動を受けたのであるが、正當なる改造は國民の向上心を發展せしめ、健全なる發達をなす爲めに此際大に改良刷新を必要とする。そして歐米では是等改造問題に關聯して、民本主義、社會主義、無政府主義が起つたのである。

□社會改造諸主義の內容と實質

又サボタージュは普通怠業と譯するも、實は妨業と譯すべきものだとの說がある。併し是れは防業と發音が同じで面白くないから、害業と云ふ方が適切で宜しいと思ふ。だが一方より考ふれば怠業と譯したために、勞働者に夫れ以上の過激なる意味卽ち業を害するが如き精神を煽動するに至らざる譯であるから、至極結構であると申すことが出來る。又民本主義は、大戰後に始めて起つたものではない、ずつと以前に希臘羅馬にもあつたが、それは政治的のみのものである。併し近世のものは意味が廣い、社會的產業的其の他の分子を包含して、新たなる意義が加はつたのである。そして國際的民本主義──民族自決主義が或る程度迄行はれたのである。英國て十七世紀に起つたものは近世民本主義てあつて、佛國十

八世紀の大革命は英國の影響を受けてゐる。そして其の意味が廣くして婦人開放問題も含んでゐる。今回の戰爭と佛蘭西の革命とは、同一の徑路であると論ずる者があるけれども、佛蘭西の革命は自由民本的であつて、今回の戰爭は各國の利權擴張と獨逸の權力主義、侵略主義に由るのであり、且つ其の反動を來したので餘程趣が違ふのである。併し獨逸が敗北したから段々道德的色彩を帶びて來た。

由來英米佛は民本主義であり、日本は從來餘り民本主義などと云はなかつたのが、歐洲大戰後大に力說せらるゝ樣になつたのであるが、此民本主義は或る意味に於て建國以來嚴存して居つたのである。今回の社會問題は獨逸の主義的の反動である。社會主義、無政府主義、サンチカリズムの如きを能く研究するならば、大なる共通點がある。第一に此三主義は民主主義に立つてゐるのみならず、勞働者の立場から建てた主義である。又經濟上から見た立場より富豪又は權力者を敵視する主義である。其他共產主義の如き種々方法手段は異なれども、今日の大戰爭の爲めに自由平和を期する熱望が、一層經濟的に解決を迫り來つたのである。社會主義は東洋西洋共に十九世紀のずつと以前にあつたので、プラトーの「理想の國家組織」の如きは獨逸のマルクスと似てゐる。又英國ではラッセルが數名の社會主義者を擧げてゐるが、佛國に於てはミルは未だ社會主義を言はず、其の後に至り主唱者が起つたのである。

□日本の社會主義と歐洲の共產主義

東洋でも古來一種の社會主義者があつた。支那の朴氏の如き其の一人である。日本では佐藤信淵の著書に社會主義の分子がある。又極端の社會主義を唱へたる人は今より二百年前安藤昌益と申す人で、其の著述たる「自然眞榮道」と申す書籍中にある「互性活眞說」と申すのが夫れである。其の說く所餘り激烈である爲めに印刷に付せず、其の寫本のみが東京帝國大學に保存してある。又マルクスは西曆千八百四十七年共產黨の大會の節大會より宣言書の起草を依託せられた。そしてマルクスは千八百四十八年佛國に、千八百五十年英國に發表したのである。其の主張は私有財產をなくする共產主義の主張、階級戰の擁護、婦人共有制、家族制の廢止等である。凡マルクスはヘーゲルの哲學の影響を受けたる人であるが、現有物を物質の資料とすること、各國民の區別をなくして、現存する社會的秩序を顚覆する主張を持つて居た。是れが改案の一つである。

福田德三君は、社會主義を唱道するも、之を實行せざれば國本は動かずと云ふたけれども、決してさうでない。苟くも唱道するならば之を實行するだけの勇氣がなければならぬ。故に唱道することが危險であれば次に實行を促す危險が伴ふのである。露國のバクーニンの著述は少ないけれども、クロポトキンの著書は却々多いのである。二人共貴族であるとは妙と云はねばならぬ。支那には二千三百年前に莊子の著書馬蹄篇に社會主義が記してある。又二千四百年前に列子の著書華胥國と申す著書にもある。然しクロポトキンの如きは、現實の社會組織を破壞する手段方法を講じたが、列子や莊子は、その

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

う現實的のことは言はぬのである。

□社會改造諸主義の區分と弊害

又ストライキはウイリアム・ベンボウが發明したものであるが、然し東洋の印度には二千七百年前釋迦の十弟子の一人が、釋迦の死後九年目にストライキを遣つた。サンヂカリズムは佛國に起りたるもので、ストライキの過激なるもので革命的行動を執り、現狀に滿足せず根本的革命を主張するのである。是等は皆道德的意義があるのであるが、世の多くの學者論客は經濟政治の方面より論じて、道德的方面より論ずる者が誠に少い。抑社會主義は富豪に對する脅威であり無政府主義は官僚主義に對する脅威であり、サンヂカリズムは資本組織に對する脅威であり、民本主義は特權階級に對する脅威である。蓋し脅威と刺擊は必要のものではあるが、又大なる弊害が伴ふのである。露には無政府主義、獨には社會主義、佛にはサンヂカリズムが起り、民本主義は近世に於て英國に起つたと云ふことが出來る。英國では主權が三分せられて居る狀態である。マルクス及ラッセルはユダヤ人であり、スパルタキストはユダヤ的の人である。由來ユダヤには多くの豫言者の出たことは舊約聖書に明かである。然るに此ユダヤの國は滅亡して、ユダヤ人は世界至る所に散在して寄生蟲の如き實情を呈してゐる。今回の戰爭に依りゼルサレムだけは英國より取返したが兎に角憐れむべき民族である。

獨逸にはトルスキーやマルクスはユダヤ人であつて、非常に壓迫せられたる爲め猛烈なる思想となつた。そして彼等の北獨逸は殊に專制である。露國のザール朝廷も壓制であつた爲めにクロポトキンは「國家は命令と强制と威壓のみである」と云つたが是れは確かに極端の議論である。夫れ國家は正義と平和と秩序を維持せんが爲めに嚴として存在してゐるのである。いつぞや我國に於てコレラ病の保菌者か行跡を晦ましたことがあつたが、あれは實に社會の秩序を亂す譯である。又山田憲の如き慘酷なる殺人犯者があるときは、國家は正義の爲めに之を罰しなければならぬ。呉博士の說に依れば文明の爲めに狂人の種類が多くなるとのことであるが、さうなれば猶更國家の存在は大必要である。偖又世には遊民なるものがあり祖先の遺產ある爲めに遊ぶ道のみを考へてゐる。圍碁であるとか魚釣であるとか演劇であるとか、其の他種々の遊惰淫樂の道を覺える。然るに一方に於ては社會の爲めに貢献せんと欲するも、無資產の爲めに思ふ樣に活動することの出來ぬ不幸なる人がある。實に社會は不公平である。愚鈍なる資產家の息子が自動車に乘つて遊惰の爲めに飛び廻はるときには、一種の反抗心が起らざるを得ぬ。そして社會組織を改造する考も起るのである。而してそこに社會を進轉せしむる刺戟が起るのである。

□將來日本の執るべき自由思想

先づ第一に土地所有を無制限に所有することは、禁ずる必要があると思ふ。今の狀態では貧困者は少しも土地を持つことが出來ず、又家を建てることが出來ないとは、實に不都合の事柄である。富者は宜しく不毛の地を開墾し、社會公共

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の爲めに圖るべきである。資本家はだん／＼大きくなり、貧民は益々困窮して其の人數を增すの傾向がある。吾々は或る程度迄の資產は必要である。彼の過激派は土地を國有とする說であるけれども、實際上に於て種々の矛盾が起るのである。又國際的平等も駄目である。米國は輓近一層日本人及支那人等を排斥し、意地惡く拒絕して居る。それは人種の觀念より來るのである。英國でもさうである。又世界の民族中文明人より支配せらるゝ方都合能き劣等民族がある。要するに各國各民族の成立は自然的であり本能的である。獨逸の社會黨は國民として多數であつて、反對黨と戰ふたのである。現今の狀態で移り行くならば、却々人種的地方的感情が取去らるべきものでない。又各國民に經濟上の利害得失がある。そして社會主義者は物質的經濟的立場のみを重んずる弊がある。戰爭中に於ける社會主義者の行動が活ける證明をなすことが出來る。又支那問題に就て考ふるに、英米の兩國は勿論我國の如きも利權獲得の爲めに競爭してゐる。兎に角永久に戰爭が止むと云ふことは却々出來ないのである。米國の如きは近時太平洋方面の艦隊を多くし砲壘を鞏固にしたとのことである。

佛國の革命は中產階級者が資本家を倒した。そして今の資本家は元の中產階級者である。此の循環的運命を考ふるならば實に妙なものである。そしてそこに道德上の意義がある。又勞働者てふ言葉の內には都會の工場勞働者のみを云ふて、農民及精神勞働者を疎外するのはいけない、大に識者たり智者たる精神勞働者を要するのである。又各個人を同じタイプにすると云ふ社會主義はいけない。所謂花は紅、柳は綠でなければならぬ。即ち普通の勞働者のみてはいけないのである。我日本は國體に於て勿論英國と大に異なるが、又幾分似て居る所もある。夫れ統治權の效用は天皇陛下の御考へ次第であつて、吾々國民の容喙し奉るべき限りではない。又英國は歷史を重んずる國である。十七世紀に革命起りたるも、大體に於て先例慣習を重んずる國である。日本は總ての社會問題、思想問題に對し輕薄なる浮き足の態度を執つたり、又は何んでもかでも外國に模倣する精神を持つてはいけない。必ずや自主獨立の確固たる精神がなければならぬ。そして歷史的家庭の進步發展を期さなければならぬ。その上て改造刷新すべきことは多々ある。日本が萬國の間に巍然として立ち、三十年の間進步發展し來たつたと云ふことは、そこに何等かの深き尊き意義があるに相違ない。浮田和民君は危險思想を恐るゝことはいけないと云はれたさうであるが、然し日本現今の狀態は必ずしも然らずである。又高楠順次郎君は今月歐米より歸國して、歐米各國が勞働者の敎育を重んじて居るから、我國も大に之に倣ふべきであると予に話されたが、實にさもあるべきことであると思ふ。之を要するに吾人は此尊き日本の國體が永久に萬世一系の皇室を戴き天壤無窮の皇運を扶翼すべきは勿論、外來の惡思想、過激主義は之を斧くると同時に、善良なる自由思想と穩健なる民主々義を歡迎し、大なる刷新と發展を期すべきである。（文責記者）

獨逸の近況

文學博士 高楠順次郎

◇歐洲各國の現況

今回の戰爭の結果としては聯合國も敵國も何れの國も打撃を蒙り、非常に疲弊して居るのであるが、私の見聞した處に依れば、白國は俄かに他からの侵略を享けた結果目下は自治療法が最も肝要であると思ふ、佛蘭西、伊太利は同じ狀態で殊に伊太利は餘病併發の虞れがある。英吉利は著々回復期に向ひつゝあるから遠からず元の狀態に回復するであらう。

佛蘭西は自身が病氣の狀態にあるが獨逸に對しての感情は獨逸の再び立つことを欲して居らない、而巳ならずこの感情は對敵の一定の方針であつて、獨逸に對する宿怨を報じ新らしく酬ゐやうとしてゐる。此れがまたクレマンソー氏の考へて、氏がロイド・ジョージ氏の尻馬に乘つてやつて佛蘭西は成功もしたが、英國はより以上の成功を收めたと一般に佛人は考へて居る。

獨逸は、クレマンソーの如き虎が有つたならば今日の如きことはなかつたかも知れない。けれども情けない哉獨逸の今日の狀態は开ういふ猛虎はない。若し尋ぬるならば軍人からであつて、ルーデンドルフ等如きであらうが、一般では回復の見込は付かない。獨逸の一般の考えでは、戰爭の始め佛蘭西を鎧袖一觸で落す積りで居つたのであつたが、佛蘭西の宿怨に追窮せられたのである。他の國民ならば反省したであらうが、獨逸では开ふてない。聯合軍の追窮からして吾々を斯くしたのである。殊に佛蘭西は根底からして、我々を破壞しやうとして居るのであると信じて居る。その事實もあるが亦其れは休むを得ない事であつて、戰敗國の負ふべき義務を享けてゐるのであるから當然である。

◇學究の獨逸封鎖

瑞西にノーベル賞金といふものゝあることは世人の普く識るところであるが、此のノーベル賞金が戰前三箇殘つて居つた。此れを瑞西は悉く獨逸人に與えたのである。それは獨逸に採つては尤も名譽のことであるが、外の國の學者よりも獨逸の學者が優れて居つたばかりでもない。獨逸の學者は戰時中の政府の非人道な宣言に贊成をして居る聯合國が學術的に獨逸を封鎖したのは、封鎖せんが爲めの封鎖ではなくて、事實が其處に導いたのであつた。

私が會ふことの可能た學者の説を綜合すると、此の戰爭の爲めに聯合國に對する獨逸の學者の反感は英、佛兩國に對しては直接で、日本には間接であると思つた。殊に佛蘭西に對し

しては『次のゼネレーションになつたなら』と云ふ思想が深刻である。マイヤーといふ伯林大學の總長は斯く述べた。『聯合國の學者は吾々のことを指して野蠻學者だと言つて居るが、今後は文明諸國の學者達は決して來て貰はないやうにして貰ゐ度いものだ』と。今日もマイヤー氏は同一の考えを持つて居る。一般の學者の考えも略ぼ相似て居るやうである。

◇今後の日本留學生

或る議員は『日本は醫術を吾が國に學んだ化學を吾が國に敎へられた、武器も亦然りである。それに日本は吾が國に敎を享けたそれ等を以て膠州灣を占領したのは不都合である』と言つた。亦大學少壯敎授の間にも排日本思想は一般の感情となつて居る。

然れども之は文部大臣と雖も、各州大學に法令に依つて斷行することは不可能事であつて、中央政府にその權はなく各州の自由であるから、外觀に懸ることを觀て切りに遊學不可能なのを心配して居る傾があるが、事實は何處の大學でも日本學生を入れないといふことは無い。が少壯敎授は直接戰爭に出て居る爲めに敵愾心を持つて居るので、少こし老練な學者になると、日本の學生を研究生に使つた人は、日本の學生は研究心に富み、頭腦が緻密で獨逸の學生よりも優れて居るから歡迎したいが最少こし忘れてから來た方が良い。といふ人はあるけれど多少老練な學者で日本學生を拒む人はない。今まで日本から行かれた人達が勉強なされたからであらう。

◇入學不能の獨逸大學

日本から往つても現在では絕對に入學れない。現下獨逸では各大學とも一杯で聽講者を收容し切れないで居る。平常學生の尠ない方面でも決して入學れないのである。

それに醫科などは、犬猫モルモット兎などの研究材料を得ることが困難で、白國では犬も大抵は食糧に供せられた結果現在では獨逸白國などで犬を見ることも困難な位である。若し在つたとしてもそれは非常に高價なもので到底日本の貧書生などの購ひ得るものではなく、場所もなく、少壯敎授間には反感もあるのであるから、今往くのは望むが寧ろ無謀である。

大學の滿員であるのは、既に戰爭中在學したものが歸校つて來たのと、將さに往かんとして動員せられて居つたもの、亦軍醫は僅か三百五十人を殘して解傭せられた爲め、素の先生を便つて更らに自分の力を充實して向上せんが爲めに入學する、最一ッは獨逸軍隊は殆んど全部解隊せられたので、少中尉階級の人々は生涯軍人で過ぐすべくその爲めの相當學術もやつて居るのが、大學なり專門學校なりへ遲蒔ながら入學する。

由來獨逸では中產階級の家庭で三人の子があれば必ずその一人は軍人になつて居つた。开らいふ軍人、士官の解除せられたものが大學へ戾つて來た、それで大學は今日の樣に滿員になつたものと想はれる。

日本の學生の留學は考えものである。獨逸 破壞れ、尙ほ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

學術の或る方面から言へば、留學に非ずして研究視察として行くのは可からう。

◇悲慘なる中產階級

獨逸の中產階級の人が、怎ういふ狀態にあるか？それは非常に變つたのてある。

食糧の缺乏は其の極點に達して居る。肉、鳥などは殆んど無く、芋を油て煮る此れが彼等の重もなく食糧て、その外菜葉のソップがある位のものてある。彼等は今までは、國家の中堅として重んぜられたものてあるが、新らしい貧亡人に成つたのてある。

亦石炭の缺乏も甚だしい。一家て唯だ一室丈け溫めることが許されて居る現狀てある。

私が遙々訪問したといふので特別の御馳走をして與れたが、それは燻製の魚一切ある位のもので、然かもそれ等は少將級名譽領事、敎授、會社員などの人々てある。金持ちは外國から買ひ得るものは立派てある。常食は普通料理屋て喰べるやうなものを攝つて居る。私はライプチヒの或る皮革會社の社長の宅に七日間滯在したが、非常に辛く痩せたのてあつた。

若し金あり伯林ても一流の料理屋へ行けば、肉も鳥もある一食は百五十馬克から百八十馬克は入用る。百五十馬克と言へば吾々が留學して居た當時ては一ケ月の學費てあつた。然れども現下は馬克の下落した爲め、私の滯在當時は一馬克我が五錢位てあつたから僅か邦貨拾圓計りて、私共に採つては差したることもないが、彼の地の中等社會ては輕からざるものてある。石炭缺乏の結果は風呂を沸すことは不可能い。湯を呑むことも困難てある。

◇生きたる骸骨

小兒の爲めには、飮むべき乳がない。私の滯在中にも百人の中五十人は營養不良てあつた。けれども此の頃ては、七十人死ぬるといふことてある。これは餘り大袈裟て、死ぬるといふのてはなくて不良といふのてあらう。牝牛も乳牛として多少は殘してあつたのてあるが、到底小兒の哺育に間に合はず私の滯在中にも、小兒を育てる爲めに五百人八百人と纏めてスイッランド邊りへ送つたのを見た。

骨の折れる病が流行して居るが、此れも營養不良から來たもので、政府の學術上の誤りから生じたことてある。大人の營養不良は皮膚下に赤い斑點が出來て居る。

秩序は全く紊亂し營養不良の結果は神經衰弱者非常に多く昔の責任的觀念は今は毫頭ない、ホテルなどて用事をボーイに命じても用の達せられることは更らになく、それが爲め阻誤を生じて客の迷惑をすることは夥しい。亦ホテル邊りても靴などは脫ぎ捨てゝおくことは絕對に出來ない。凡て責任觀念の乏失から起つたのてあらう。

◇娛樂場の狀況

オペラなどへ行つて見ると、其の他の娛樂場も總べて滿員てある。これは勞働者が觀客の主たるものてあるといふ狀態てある、彼等は辨當持參て行くのてあるが、その辨當はパン

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

の間に鹽を入れたものてある。

此等の娯樂場も石炭節約の爲め、夜は十時限り消燈する。娯樂場の滿員なのは英吉利、佛蘭西なども同樣てあるが、中產階級の物質の缺乏は一般に甚だしく、唯だ政府の命令通り漸くその日を送つて居るといふに過ぎないのてある。

◇獨逸の國家的破產

砂糖なども缺乏して、僅かにサツカリンを以て其の代用として居るのてあるが、假令砂糖が外國から輸入せられたとしても全然それを爲替相場の相異よりして、購買することは不可能い。

爲替相場の回復は外債に俟つより他に途はないのてあるが、それは聯合國は兎も角、佛蘭西は承知しないてあらう。

私の滯在中に一馬克は邦貨の五錢から七錢の間を往復して居たが今日ては邦貨二錢五厘となつて居る。このまゝ往つたなら國家的破產てある。亦獨逸ては國家的の破產を宣告すると言つて脅威したのてある。

獨逸を通つて見れば、羊などは居らぬ。犬なども住んて居らぬが野や山の狀態に變りはない。ところが佛蘭西は塹壕横はり鐵條網は隨所に張られて砲彈の爲めに林は枯れて居る。獨逸の鐵道は急行の本線以外夜は燈火を付けない。汽船もまた同樣て一切燈火を用ゐて居らぬといふ始末てある。

◇獨逸の將來如何

ミユンヘンはスパルタキストの集まつて居る處て、日本人は絶對に容れない、のみならず過激主義の旺な處てある。亦カイザーに對しては同情はして居るが、政略は誤つて居ると考えて居るやうてある。

一般の獨逸人の日本に對する感情は、一時は險惡てあつたけれども、日本の捕虜が故國へ手紙を出し、それが悉く新聞に出るので、他國ては入牢せしめられて居るのに、日本ては物價騰貴に對する割增しを爲し、旅行の自由あり、亦就職まてもせしめたなどのことが紹介せられて、日本は紳士的國てあると敵愾心を捨てたのてある。

而して獨逸は果して恢復爲し得るか？當分はなし得ないと思はれる。十年二十年百年の後には恢復を爲し得ると答ふる者もあるが、明答は得ないのてある。

亦獨逸人は、何時かは恢復をして、第一は佛蘭西に最後は英吉利に對して報復をせねばならぬと言つて居る。けれども百年の後は知れぬが當分は見込はない。狀態が變化して、大軍を起して復讐をするといふ事は、一百年の後ても困難てある。（講演大要文責在記者）

電話番號變更

此の度本部に急設電話が架設されました爲め從つて番號も左の如く變更されましたから御報告申上ます。

神田四〇二〇番

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

其後の婦人救濟運動（一）

救世軍大佐
廓清會評議員　山室軍平

◇……實際の側から近頃自ら關係して居る婦人救濟運動に就て概略の御報告を申上げやうと思ふ……◇

現在やつて居る仕事としては只今三ケ所に婦人救濟所の如きものを設けて、既に墮落した婦人の救濟なり乃至は墮落に瀕して居る者を未然に防ぐと云ふやうな事をして居る、其事業の一として只今私共の方で東京の麻布廣尾に經營して居る婦人ホームと云ふのがある、最近一年間に新たに其處に收容した婦人は總計百八十八人である、其內廢業娼妓が三十六人、藝妓三人、酌婦三人、警察から引取つた者が二十五人、監獄から引取つた者が十八人で其外は種々である。

今一は豫ねて或る方々が御承知のやうに滿洲の大連に育兒及び婦人ホームと云ふものを經營して居る、育兒の方は別であるが婦人ホームの事を申上げると只今申上げたやうに墮落した婦人なり墮落に瀕して居る婦人を未然に救ふて居る、最近一年間に其處に收容した其種類の婦人が六十三人ある、それから最近去年の十一月であるが同じ必要に迫られて大阪に婦人ホームを始めて、其名を女子希望館と云ふのである、其成績は數字を擧げて御報告致す譯には參らぬが平生斯う云ふ事に餘り御注意の遑の無い方もあるから、一體斯う云ふ人間を救ふのにどう云ふ手數が要るかと云ふ事を一寸一つ丈け申

述べて見たい、言ひ換へれば

◇……人一人を救ふ爲めにどう云ふ手數が要るかと云ふ事を御參考迄に申述べて見たい……◇

大正八年の六月末の事である、原籍は吳市榮町の者才塚ミツヨ（十四）、土井キク（九）の二人が滿洲の大連にやつて來た、連れて參つた者が吉村某（五十五、六）と云ふ老婦人で大連に住居する者であるが、此二人の娘を藝者にする積りであつたが餘り慘酷の扱を受けるので其二人の者は三日目に逃げ出したのであるが、どうして宜いか分らない、船著場に行つて見たが、勝手が分らないので彼方此方を彷徨つて居たのを、大連汽船會社員の某氏が其れを見つけた、それから色々尋ねて見たがそれては不可ぬと云ふので之を戒め、電話を掛けて救世軍婦人ホームに交涉して置いた後に、其妻をして其二人を連れて救世軍に來たらしめたのである、それから救世軍てどう扱つたかと云ふと取敢ず兩人の親元に還へしてやる事にして、さうして其事實を詳細に調べる事にした、今述べたやうに吉村某なる婦人が其二人を大連に連れて來たと云ふのであるから其婦人に就て調べて見たのである、所が其婦人は何にも知らぬ唯々頼まれた丈けであると斯う云ふて居るのであるけれども、其手にはどんな風にても身賣りの出來るやうな書

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

類を持つて居る、官判を捺した書類を澤山持つて居て二人を片付ける事が容易に出來るやうになつて居る、而して二人の娘の中大きい方は愚鈍で顔も醜くあるから、返す事になつた、そうして市役所の救護費中より旅費を出して貰ひ、警察の保護にて歸國させた、是で大きい方は片付いたが、一方の方は小さいから婦人ホームの方に止めて置く事にした、そこで此大きい方の娘一人を歸國させる爲めにどれ丈の事をしたかと云へば、市役所の方から救護費を貰つて是に警察の保護で歸國せしめたと云ふ事になり、是に關係した者は先づ會社員が之を見付け其妻が救世軍に連れて來て、さうして救世軍の士官が其中に這入つて警察に交渉して國元に問合せて貰ひ、一方人買の女の承諾を得、市役所から金を出して貰つて片が付いたと云ふ事になる、斯様に種々の手數が掛つて居る、併し其方は何でも無くそれで濟んだが、問題は九歳になる方の娘である、十四になる娘が「國に一緒に歸らうではないか」と云ふと、九歳になる方が云ふには「否返れば復賣られるホームの子になり學校に行つて、ホームに居る花ちやんのやうに立派な人になりたい」と云つてどうしても歸らない、察するに國元によく〳〵込入つた事情があると云ふ事は想像するに難くない、そこで國元には歸へせないと云ふ事になつたので、救世軍で保護して居る中に親元から警察を通じて保護願が出て參つた、さうして云ふには「藝妓にする積りで大連にやつたのにホーム抔で世話になつては迷惑である、速に歸國さして貰ひたい」と云ふ事を云つて來たけれども、どうも家が賤しい家であるから歸へすのは危險であると云ふので、其儘にして置いた所が其中に今度は呉の方から金を八圓許り大連の警察署に送つて參つて其を路用として速に娘を送り還して貰ひたいと言つて來た、そこで受持士官が警察に交渉して程なく内地に行く用事もあれば其際實情を調べ親とも面會して解決しますから、それ迄金は預つて置いてなんとか申譯を作つて娘を返さないで置いて戴きたい」すると警察の方でも快く同意して呉れた、此處で斯う云ふ事業に民間の有志が働くかと云ふ事、さうして警察方面の理解がどんなに必要なものかと云ふ事は御想像が出來る、同時に此事を解決するには何れ金が要ると云ふ事は分つて居る、そこで遼東新報に其娘の事を出して貰つた、すると早速電話にて寄附を申込む者もあり直接新聞社に金を屆けた人があると云ふやうな譯であつて、抑々新聞社が其仕事を助け盡力する事が出來るかどうかと云ふ事は――直ちに斯う云ふ事に影響すると云ふ事を御想像が出來る筈である。

◆……新聞の御影で金が集るには集つたが、まだ其丈けでは足りない……◆

そこで今度は救世軍の士官が金を作る目的で歩いて居ると其途中で一人の紳士に出合つた、其紳士が士官に向つて「何んでそんなに歩き廻つて居りますか」と問ふたので士官は答へて「九歳になる娘を救ふが爲めに金策して居るのです」と其事情を詳細に話した、すると其紳士は「それは困つた事ださう云ふ事では金が費るだらう、金でさう云ふ善い事が出來るなら入用丈上げやう、取敢ず百五十圓を差上げやう」と云

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ふ事で是で金の分別は出來たのである、物質を持つて外部から斯う事業に援助を與へる人物の必要を見出す事になる。

所で其紳士が何故に快く右百五十圓を呈するやうになつたかと云ふと、其紳士は大連て相當の事業をやつて居る人てあるが、其紳士の支配人と云ふのが嘗て東京の麻布て二十年前に苦學生をやつて居つた者てある、其人が苦學時代に救世軍の士官の世話になつた事がある、今日滿洲て相當の働をして居るが、苦學生時代に受けた恩を深く感じて斯う云う事業に興味を持つて働いて居る、一方主人をも勸めて斯う云う事業に興味を持たしめたのてある、二十年前に或人の世話になつた者が二十年後に於て娘を助ける爲めに金が入用だと云ふ時に其金を出して娘を救ふ事が出來ると云ふ事になつたと云ふ事は、何時何がどうなるか分らないものてある、そこて斯う云ふ事情に興味を持つ人の必要があると云ふ事を見出す事が出來る、それから救世軍の士官は十一月一日に大連を出發し三日に門司に著して、それから廣島に參つて救世軍の人々に面會し、呉には救世軍の支部があるので、其處の下士に紹介せられて呉に參つたのてある、そこて下士抔とも相談をし其處の信用の出來る信者の家に紹介せられて、出掛けて行つて働に取掛つたのてある、參るや否や其人に托して娘の親なる人の人物及び家庭の狀態がどうてあるかと云ふ事を調べて貰つた、すると何んても土方と云ふ事てあるが、親分との關係はどうなつて居るか、萬一事が面倒になつた時に其者を説くに勢力ある者があるだらうか、若しさう云ふ人が居るかどうかと云ふ事の下調べをした、土著の人が斯う云ふ問題に興味を持つて世話をすると云ふ事が必要であると云ふ事を知る可き筈てある。

それから警察に參つて、大連からの警察署の證明書を示し、呉の警察に托して一つには其親なる者の身上を調べて貰ひ、今一つは場合に依りては萬一の時の保護を與へて貰ふやうに警察に依賴した、警察では快く之を受入れて交番の巡査を同伴せしめて、親の家を尋ねさせる事になつたが不幸にして其親は不在てあつた、そこて近所の人に賴んて明日仕事を休んて救世軍に來て貰ひたい、日當は此方て拂ふからと云ふ事を傳へて貰ふ事にして、其日はそれて終つた、此處て矢張警察の協力の必要を見る事が出來る。

其翌日彼はやつて來た、聞いて見ると云ふと彼は久しい間呉には居ない者てあつて數日前に歸つて來たものであると云ふ事を發見した、それては其娘を賣つた者は誰てあるかと云ふ事がそれが問題になつて來た、彼は土方てあるから生活に困つて居つたので、自分の妻と相談して、何とか子供丈でも貰つて呉れる者があつたら、少しは助かるてあらうと云つては居たが、まさか自分の娘を賣る程の考は持つて居なかつた、それが五、六箇月前に鐵道工事の爲めに北海道の十勝に出掛けて行つた、さうして十勝に行つて稼いて蓄めた金を三十五圓送つて來た事もあつた、夫が出掛けた後に其妻は姦夫と關係を付けたのである、夫の送つた金は悉く使ひ果し目星しい家財道具は皆な賣拂ひそれも使ひ果して、それても足らず高利貸から四十圓、二十圓と合計六十圓の借金を拵へ、月一割の利子て到底やり切れないので、娘を賣らうと云ふ事になつ

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

た、それて其高利貸の姉てある前に述べた現在大連に居る所の吉村某に托して、彼女を逐る事になつたのてある、藝妓に賣飛ばして其金て高利貸から借りた金を返して、それて其後て姦夫姦婦の關係を續けやうと云ふのが彼等の目論見てあつた。

◇……一體日本て親權が、何の程度迄働くだらうかと云ふ事に疑議の存する所があるが……◇

親が九歳になる娘を藝妓に賣ると云ふやうな事をする場合に、之を罰する事は出來ないけれども、却て親の名前を以て保護願ひを出せば、二度も三度も引戻さなければならぬと云ふ以上は、親以外の人は之を世話する事が出來ないと云ふ、非常な法律上の缺陷を認むる場合がないてあらうか、斯う考へられるのてある。

所て北海道に稼いて居た其娘の親父が働いて居る中に、足が痛んて來たので、一本十圓もする針を打つたが快くならない爲めに、已むを得ず歸國の途に著いたが途中て金が無くなつたので心配しながら汽車に乘つて居つた、所が其汽車中て札幌の米穀商某が、彼の身裝りを見て其身分を尋ねた、そこて色々話をした所が金を二十五圓呉れた、其を路用にして御蔭て土を踏まずに一直線に呉に歸る事が出來たのてある。そこて蔭れたる慈善家が思はぬ所に居つた事は、或る遙か向ふの方て娘に極めて必要なる手引をして居つた事實を見出すのてある。

それから十二月二十九日の夕方に自分の家に歸つて來て草鞋を解いて居る所へ、姦婦姦夫が勞働から歸つて來て喫驚したのてあるが、其結果は其夜大喧嘩をした擧句姦婦姦夫は手に手を取つて逃げて仕舞つたのてある、が、何んても呉の市中に隠れて居ると云ふ事て、血眼になつて搜して居る最中てあつた、門司から救世軍て面會に行くと云ふ葉書が來たから、それては娘の居所が知れると心待ちに待つて居つた所てある斯う云ふ事實を發見したのてある、若しも大連の警察署の求めに應じて、娘を保護しないて直ぐに還したものてあつたならば、姦夫姦婦が復賣飛ばして仕舞ふやうな事になつたら、其親父が北海道から歸つて來て更に事が面倒になつたてあらうと云ふ事を考へて見ると、私共茲に新聞社の世話や警察の取計ひ又慈善家の骨折の外に、或る見えざる力の加はるのてないならば、其娘を助けるに望みの少ないものだと云ふ事を感ぜざるを得ないのてある。

所て其處まて分つて來たから、取敢ず高利貸から借りて居つた金を全部拂つて仕舞つた、それから足の治療の爲めに仕事が出來ないと云ふので、七十圓の金を渡してやつたのてある、而も其中五十圓は銀行に預けて、其金を引出すには本人と救世軍の會計と、彼の親しい植木屋との三人の印形がなければ、出來ないやうな手續にしてやつたのてある、さうして其妻も居ない今日てあるので、其娘は救世軍の方て全然貰受ける事になつて、育兒ホームの方に引取ると云ふ事にしたのてある、斯の如くにして漸く其娘は落着いたのてあるが、以上述べた通り此九歳になる娘を救ふ爲めに、其處に警察の協力を見た、新聞社の同情を見た、傳道の恩惠も現はれて來て居る、此處に又物質を以て助ける人の協力の大切なる事を見

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

た。

◇……士官の人の働いて呉れる必要を見た、救世軍の士官の苦心は云ふ迄もない……◇

それから人間以上の働が加つて此娘が落着き得らるゝと云ふ事の事實が現はれて來るのである。

單に年々百何十人とか三百人とか云ふ數字を、御聞きになつた丈では、其等の者を救ふには何の位の復雜な順序を經、何の位面倒な手數を要するかと云ふ事は、御分りにならないであらうが、是等の者の世話をすると云ふのには往々にして斯う云ふ手數を要するのである、唯々安心してホームに落着けるやうになる迄の手數が夫丈けである、是から一通りの教育も授けなければならぬ、さうして年頃になれば尚更心配なものである、全く云ふに云へない苦心の存するものがある。

有名なる教育家ホレースマンが感化院の開院式に臨み一場の演說を試みて曰く「是程澤山の金を掛けて設備を整へたが、此處にたつた一人の人間でも改善せらるゝならば足る」と云つた。其演說が濟んだ後て、或人が彼に向つて「たつた一人とは言過ぎてはありませぬか」と問うた。すると彼は答へて「如何なる手數が掛り、如何なる努力を要するも、一人の人が救はれるならば、其手數、其努力は酬ひられて餘りがある、若し其一人が自分の子供であるとして考へて御覽なさい、其が自れの子であつたとするならば、如何なる手數も、如何なる努力も、眼前の費用も悉く酬ひられて餘りあると云つても宜いだらうと思ふ」と云はれたのである、そんな話をすると際限がないので此處には略す事とする。

◇……日本の救世軍がレスキュー即ち婦人救濟に着手してより……◇

今年末になれば二十年になる譯である、最初からの數字を擧げる事は出來ないが、今日救世軍の本部で婦人救濟掛として、盡力して居る伊藤大尉が其方の掛になつた大正元年末から、今日迄七、八年の間に廢業した娼妓の數が六百人、其他の者が百五十人、此人の手に掛つて醜業を罷めた者が今日迄に七百五十人に達して居る。

其間に幾度半殺の目に遇つたか知れないのであるけれども、幸にしてまだ死なずに生きて居て呉れるのは誠に喜ばしい事である。

又別に警察監獄掛と云ふ事を勤めて居る婦人士官がある、毎日のやうに警察や監獄を訪問して、拘留せられて居る婦人に說諭して其婦人の悔悟を說くのである、或る場合には上野停車場や、淺草公園邊に行つて誘拐せられて來た婦人や其他の剱呑な婦人達を連れて歸るのである。去る一年間に警察を訪問した度數が二百十回、取扱ひたる件數が四十一件、監獄を訪問したる度數が八十六回、女囚との面會數が百七十六回、引取りし免囚の數が十人、上野驛、淺草公園等に出張した數が百八十九回、其處にて取扱ひたる數が百四十三件と云ふ事になつて居る。

娼妓の廢業に關する狀況は其後どう云ふ風になつて居るかを、極めて簡單に一つ二つを御報告して見たい、御記憶の方もあらうが、府會議員の選擧の時に淺草區より最高點で當選した吉原の小川樓の樓主小川作藏なる者がある、此人は吉原

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

の三業取締を兼ねて居る、有難い事で東京府は斯う云ふ人物を一つの區から選出し、府會議員として府の事の相談を願うて居るのである、是が若し英國てゝもあるならば、人の娘に醜業を營ましめて居る斯の如き者は動物だと云ふので、衆人環視の中て鞭て引つぱたかれる。

◎……東京では斯んな道德上の犯罪人を、府會議員として最高點にて選出して居る……◎

一方では三業取締をしながら、一方では府會議員を兼ねて居るのである、斯う云ふ事を何時迄見逃がして置く事が出來るてあらうか、斯の如き犯罪人をして府政を議せしむる所の東京府は不幸なるかなと云はざるを得ない、所が昨年の事てあるが、彼が府會議員に選擧せらるゝ二、三日前の事である、彼の抱への娼妓が二人逃げ出して救世軍に飛込んで來て、廢業させて貰ひたいと言出した、そこて伊藤君が種々尋ねて見ると、彼等は貸借關係もあるので、小川樓に電話を掛けて、廢業娼妓が二人救世軍に來て居ると云ふ事を傳へたので彼は早速出掛けて來た、それから別室で勝手に話をさせて置いた所が、色々說いたが一人の方は到底駄目だと云ふので見離したのである、もう一人の方はまだ脈があると見たものと見えて、どうぞ一遍歸つて來て吳れ、さうして合意の上で自由廢業をした上て親元にも返してやる、賴む〳〵と云つて百圓許りの金を取出して、其娼妓の懷に捻込んだ、然るに其娼妓は「斯んな物は入りませんと云つて叩き付けた」それで彼は到底駄目だと見たものだから、「貴樣のやうな者は駄目だ」と云つて斷念して返つて行つたのである、さう云ふ行動をして居る人物が府會議員として、東京府に出席して諸君と私共の大事な事を相談して吳れて居るのてある。

此處に又違つた話てあるが矢張吉原の或る貸座敷の娼妓が一人、是は昨年の暮の事てあるが、一人の遣手婆を連れて其當時の築地の假本營にやつて來た、さうして遣手婆のをる前て伊藤君に向ひ自由廢業の助力を賴んだのである、すると遣手婆さん大いに驚いて曰く「どうした所へお前は私を連れて來たのだ、お前は今日は私を淺草に連れて行つて御馳走してやると云つて連れ出したのではないか、成程御馳走にはなつた、活動も見せて貰つたには違ひない、どうも斯んな所に來て廢業の御手傳ひをする筈てはなかつた、まだ時間も早いから築地の叔父さんを尋ねるから一緒に來て吳れと云つたてはないか、それも築地迄來たけれども、まさか斯んな所へ連れて來ようとは思はなかつた、入口て變だと思つたから、此處は何所だと聞いたら、異人館に勤めて居るのだ、寄つて異人の御茶ても一杯飮んて行かうと云つたのてはないか、それが斯んな事にならうとは思はなかつた」と云つて澁面を作つて居つた、そこて伊藤君は「それは氣の毒だ娼妓の方が惡い、さう云ふ嘘を言つたのは確に惡い、お前さんも此儘に歸つては主人に申譯がなからう、お前さんも年は取つても未だ飯炊位は出來るだらうから、適當の口を搜してやるから序てに此儘に廢業した方が宜からう」と勸告してやつたが遣手婆さん曰く「御親切は有難いが私には妓夫をして居る亭主がありますから、私一人の考へには行きません」と云つた、それて自分一人の力ては到底行かぬと云ふので、電話て樓主に訴へて、

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

斯う云ふ所に連れて來られて居ると云ふ事を通知した、すると樓主が番頭と書記と三人連れて自動車でやつて來た、さうして三人で娼妓に色々說いたが頑として應じなかつた、そこで伊藤君は「動物園の熊のやうに頸に繩を付けて連れて行く譯には行くまい、君等もあんな商賣をして居らずに一緒に廢業して仕舞つたらどうだ」と云ふやうな意味を云つた、さうすると樓主等もどうもならぬと云ふので斷念して歸つて行つたのである、其翌日伊藤君が其娼妓を連れて日本堤の警察署に廢業の手續をしてやりに行つた所が、昨日來た番頭が樓主の代理として出て來て「昨日は御高說を承りまして有難う御座いました」と禮を云つたやうな譯で何の支障も無く廢業の手續を濟ます事が出來たのである。

◎……實例丈を述べると殿樣杯は面白いものだ位に御考へになるかも知れないが、中々さう許りは……◎

昨年十月の事であるが吉原の壽々賓來樓の娼妓髙橋某が廢業の助力を求めに救世軍に來たのである、そこで伊藤君が其娼妓を連れて、日本堤署に廢業の手續をしてやりに行つた、所が平常署長が斯う云ふ事を取扱ふ事はないのであるが、此時に限り署長が自分で取扱つた、そうして其娼妓に向ひ「借金を踏倒して廢業するなんて不心得な奴だ」杯と色々喧しい事を云つた後に直接救世軍に行つたのは、娼妓取締規則第七條に違反するものとして、即決七日の拘留を申渡した、斯んな事は近來此警察には無かつたのであるが、此署長は特別に遊廓の爲めに能く勤める人であると見える、兎に角正式裁判と云ふ事になつて、伊藤君が是が辯護をする事になつた、其辯護に曰く「茲に東京に不思議な場所がある、名付けて千東町二丁目と云ふ、或る番地は象潟署の管內、或る番地は日本堤署に屬する、其處に密娼なる者が居つて一時は全滅しかゝつたのであるが、近來以前程では無いが蔓つて來て居る、而して其處に誘拐せられて來て居る婦人があると、救世軍に電話を掛けて、何分宜しく世話を賴むと云つて來る、同じ千東町の二丁目でも日本堤署の方になると、醜業を營んで居つた婦人が厭であるから堅氣になると云つて、廢業を願ひ出ると不心得者だと云ふので、無理に醜業を續けさせやうとする、若し聞かざれば罰する、斯う云ふ事になつて居る、是が若し東京と北海道の警察とでも云ふならば、取扱ひ方が違ふと云ふ事もあらうが、同じ東京の淺草である、而も千東町の二丁目の中である、然るに一方では救世軍に堅氣になりたいと云ふから、力になつてやつて貰ひたいと云つて賴んで來る、それを一方では醜業が厭だから廢業したいと云ふのを、警察で邪魔をすると云ふ事は在る可き筈でない、被告の無斷で救世軍に來たのは他に取る可き手段が無かつたからの事である」と云ふ伊藤君一流の辯護があつて、兎も角も其正式裁判の結果として、拘留は取消されたのである。

◆選擧の悲哀◆

長野縣上伊那郡東春近村青年會長唐澤淳一郎は同村戸田常治郎の妹を妻に常治郎は又淳一郎の妹を妻にし何れも子供迄ある中なるに唐澤は町議候補を常治郎は戸田候補を擔ぎて運動し相反目し其結果今の妻なる妹を双方にて離婚して運動をなしつゝありといふ。

これからの娘

廓清會評議員　高島米峰

■盆と正月と一緒に來た心持
——春風一過し去るまでの間■

『娘』は女の一生中、先づ花ならば蕾といふところ、その將來は希望と期待とに滿ちて、いつも、盆と正月とが一緒に來たやうな、誠に華かな樂しい時代である。しかし、花を開かせる雨は、また花を散らさせる雨であつて三春の行樂も夢と過ぎ、いつしか葉櫻の『年增』とならねばならぬ運命を持つて居る。然り、くどいやうだが『娘』はいつまでも『娘』で居ない。縱令『妻』ともならば、『母』ともならずとするも、寄る年波は、謂はゆる『娘』を『娘』のまゝにはして置かない。『老娘』は卽ち謂はゆる『娘』でないことを思へば、『娘』の壽命は實に短いものではないか。

謂はゆる『娘』としての『娘』は、たゞ身も心も潔くあればよい。美しくあればよい。無邪氣であればよい。天眞爛漫であればよい。實はたゞ人形の如くあればよいのである。しかしそれも實は、春風一過し去る迄のことであつて、永久の問題でない。『娘』自身も、人形で居られない時機が來るし、環境も亦、人形を自覺めしめなければ止まない期節になる。

■七去三從からノラが出る迄
——洋製の板額女史が對等に■

『娘』が『女』であることを知るに至れば、それは一段の進步である。『女』が人であることを覺るに至れば、それは更に一段の進步である。今までの日本の『娘』は、辛くも『女』であるといふことまでは知り得たやうであるが、『人』であるといふことは、覺り得なかつた。否、『男』が『女』をして、『人』たることの自覺を起さしむることの、自己の專制抑壓に不利なるを知つて、七去三從などいふ攻道具を押し竝べ、柔順溫良貞淑などいふ好餌を投げ與へて、依りて以て、飽くまでも『女』を『女』で終らしめやうとした努力は、隨分長い過去に、頗る有效であつた。しかも、ノラの飛び出すやうになつてからは、そこにもこゝにも覺醒だ解放だと、さう〳〵は男のいふことばかりに盲從して居ない『女』が出て來た。卽ち『人』としての『女』が次第に多くなつて來たのである。『女』も『人』である男も『人』である以上、從來、長い間男本位の道德及び制度の下に、屈從せしめられて居たのは間違つて居る。男に男の世界のある如く、『女』には『女』の世界がある。イヤ世界は『男』のみの世界ではなくて、同時に又『女』の世界でもあるとあつて、向意氣の荒いのになると、男と同じやうに、參政權を與へよと、騷ぎ廻はる『女』さへ少くない。否、英國でも米國でも、これ等洋製の板額女史輩に騷ぎ立てられて、參政權を與へること

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

にしたのみならず、米國に於ては女市長もあれば女代議士もあるといふ始末、かうなると、いくら鼻の下の長い米國男もあんまり好い氣持ちはしないものと見え、最近米國に於ては、電車に乗つても汽車に乗つても『女』に席を讓つてやる『男』が少くなつて來たといふことである。即ち『女』は弱いものであるから『男』が之を扶け、これを庇つてやる必要もあるのだが、參政權までを得て『男』と同じ立脚地に立つといふことならば、もう『男』と對等のものである。對等のものに特に讓歩してやる必要はないといふ理由で『女』に席を讓るが如きを、舊思想と嘲るものさへ多いといふことである。

■男が迎へに來て呉れぬ時代——これからの娘、女、人として■

日本の思想界も、一般に女の立場で認めるやうになり、今までのやうに『女』は『男』のための存在であるといふやうな思想から解脱して來たし、又『女』も『男』に依賴し屈從して、一生を活き甲斐なく活きて往くといふやうな、無意味な境遇に甘んじなくなつて來た。そこへ生活難と云ふ荒波が押寄せて來て、『女』をして容易に『妻』たらしめもしないし、女の方でも又、容易に『妻』たらうともしない。

しかし人生といふものは、『男』といふ『人』と、『女』といふ『人』とが、個々別々に存在してゐるといふだけで、成立つものではなくて、『男』と『女』とが、人格的に結合するといふことによつて、創造せられるものである。『男』も『人』であり、『女』も『人』であり、而して『娘』は、『女』たるべく『人』たるべく運命づけられて居るものである以上、將來、必ず人生創造の責任の半ばを荷負しなければならないもので、なくてはならない。從つて、これからの『娘』は、今までの『娘』のやうに、或る時機が來さへすれば、『男』が迎へに來て呉れるもの、自分に確乎たる意志と實力とが無くとも、自然に『妻』たらしめられ、『母』たらしめられるものと、呑氣な顏して、時節到來を待つて居る譯にはゆかない。縱令種々なる事情の爲めに『妻』たらず『母』たらず、職業婦人として老いゆくものでも、若し一度『妻』たる機會を摑み得たる場合は、『妻』として優秀なる能率を示すだけの用意が無くてはならないし、又『母』となりては、卓越せる技倆を振ふだけの修養を忘れてはならない。況んや最初より、『妻』たり『母』たるべき理想を抱ける『娘』に在りては、這般の教養に於いて、間然するところがあつてはならない。

■通用しない『娘』さん——『娘』から『人』の世界に■

家事裁縫、もとより疎略にすることは出來ないし、又、音樂を聽く耳、繪畫を眼る眼も一通り備へて居て欲しいが、わけて『娘』の時代には、一般常識の涵養を忽にして貰ひたくない。『妻』となりて『夫』の話しに相槌を打つことも出來ず『母』となりて幼兒の質問にさへたじたじするやうでは、とてもこれからの『妻』これからの『母』となることも出來ないし、勿論、これからの『女』としても、これからの『人』としても、それでは通用しない。

今迄の『娘』は、單に謂はゆる『娘』としての『娘』であればよかつたが、これからの『娘』は、たゞ『娘』であるだけでは濟まない、『娘』の世界が、直に『人』の世界に接觸して來たのだから。（[illegible]）

禁酒の斷行とその效果

貴族院議員
廓清會評議員　江原素六

□禁酒と軍事的知識

輓近改造と云ふ言葉が盛んに用ゐられるが是れは國の大小に依つて多少の斟酌を要すると思ふ。支那の韓非子が「大國を治むる者は小鮮を煮るが如し」と申したが、大國の改造は容易でないのである。現内閣は郎一に軍備の充實と云ふことを主張するけれども、併し軍備は永遠に維持することが出來ぬのである。そして此の軍備には知識が副はなければならぬ。日露戰爭の當時は露軍が鐵條網を張つて日本軍を苦しめたのであるが即ち此の點に於て露國の軍隊は、日本の軍隊よりも勝れた知識を有して居つたのである。然るに英國では新たにタンクを發明して戰爭に使用したが、鐵條網に對する偉大なる力は、丸て金槌を以て豆腐を叩き付けるが如きものである。

又獨逸が毒瓦斯を發明して之を戰爭に使用し、多くの聯合軍を惱ました上に於て著しき效果があつたのであるが、米國は尚ほ一層進歩した然の非常に著くて效力絶大なる毒瓦斯を歐洲大戰の眞最中に發明したのであるが是れは獨逸の休戰要求の爲めに遂に使用せず、大西洋の最も深い所に沈めたとのことである。

知識は腦の働きであることは云ふ迄もなく、そして此の腦を鈍らすものは、酒より甚しきはないのである。然して今日では禁酒禁煙でなくては、造化と爭ふと云ふ眞正の研究的精神と向上的元氣を起すことが出來ぬのである。予は此の際我が國民に對し、大いに自覺を希望せざるを得ぬのである。

□禁酒と頭腦との關係

佛國のシコー將軍が日本より米國に行き、日本を非常に褒めて日本人が美しい人格を有して居ることも讃嘆した。そうであるが、其の次に言ふには「然しながら飛行機は非常に人の生命に關係して居る重大のものであるに拘はらず、日本人は此の飛行機械に關する調査が、頗る粗漏杜撰であることは甚だ遺憾なことである。故に死傷等の禍害も比較的多い樣である」と。是れは實に肯綮に當つて居る言であつて、其の大原因は酒と腦との關係にあると思ふのである。

又資本家と勞働者との鬪爭事件なども酒なるものが混じて居ると混ぜざるとに由つて、非常の相違がある。英國の或る港に勞働者のストライキがあつた。其の時市長は狼狽せずして一般の酒場に對し最初は午前十時前に酒場を開くことを禁じ、次の日には正午前に開くことを禁じ、其の次の日には同じく午前に開くことを禁じ正午より午後九時迄に開くことを許し、九時後は絕對に之を禁じた。そして一面に於ては敏活に仲裁人を容れて妥協を試ましめた。所が勞働者は大體酒を思ふ樣に飲めぬのであるから、仲裁人の言も資本家の言も、冷靜なる頭腦を以て了解したから、案外に早く解決したとのことである。ストライキは一面から言へば權利であるに相違ないけれども、無制限に此の權利を實行しては、結局勞働者も資本家も共仆れとなるのである。

□禁酒と能率增進

又酒は前にも陳ぶる如く了解力を鈍くし精神を不確實にするから、禁酒の如き問題は先決問題として定めねばならぬ。勞働者は一般的から云ふならば、酒を飲み酒を嗜むので、甚しきに至つては大酒の爲めに、皮膚の組織が癩病者の皮膚

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

と同樣になるのてある。そして酒は非常に能率上の大關係を有して居る。若し我が日本の勞働者が正味八時間を、眞正に働くと云ふことになるならば、實際堪ふることが出來ぬてあらうと思ふ。故に勞働者にして禁酒せば、長時間働くことが出來る計りてなく、能率が著しく增進するのてある。

又先年私の郷里沼津の方へ駿東郡長となつて來た某法學士は、夫婦共熱心なる基督敎信者てあるのみならず、嚴格なる酒禁禁煙家て、却々郡治的才能手腕のある人てあつたが、一年足らずの内に本省詰となつたのて、誠に惜い事てあつたが、同郡内の高根村長は大いに此の郡長の高風に感じ、役場内に於て酒禁禁煙を勵行し、役場吏員各自の自宅ても成る可く晩酌を止めて貰ひたいと懇談し、之を勵行した處が、今迄洋燈を點した後てなければ役場を退散することが出來なかつたのが、今度は熱心敏活に用務を處理することに依つて、午前中卽ち半日て奇麗に用が運んて行くことが、出來たとのことてある。今迄は煙草を飲みながら、無駄話をするとか、酒氣を帶びて居眠りをするとかと云ふことの爲めに、事務が澁滯したのてあるのに、それが丸て一變したのてある。能くある實例は役場ても諸官衙ても、退廳時間の少し前に一般の人人より受取つた申告申請の書類を受理して、之を卓子の抽出に仕舞ひ込み遂に紛失することは往々見る所てあるが、殊に飮酒家に斯の如き過失が夥しくある樣に思ふ。角に兎酒を禁ずることの善良な事てあり、大事な事てあると云ふことは、一點の議論や異議を挾む餘地はない。

□禁酒と經濟上の關係

一國財政上の議論としては貴族院にも議論はあるが、酒稅がなくなつても之を補充すべき、より能き稅源はどの位もあるのてある。又貯金に關する、一二の例を擧ぐれば、米國のリービングストンと申す町に禁酒を斷行した結果、其の町に酒場を有し又は酒を飮む日本人及支那人を追出し、酒は其の町に一切賣らせぬこととしたそれだから、酒を飮みたい者は隣りの町のステーションへ行つて飮まねばならぬので、酒を飮む人が少なくなり貯金の額が非常に增加したとのことてある。又其の町や附近に居つた日本人が、一ケ年間に本國へ三十五萬圓送金したものが、禁酒後の一年間に六十五萬圓を送金したとのことてある。又露國は百億萬留の貯金てあつたのが、禁酒の結果三百億萬留の貯金となり、三倍の高額となつた。又病人の如きも禁酒を實行した爲め七割減じたそうてある。夫れ大國を治むるは小鮮を煮るが如してある。吾々が細微と思ふ點に、意外なる大結果を包藏することがあるものてあるから、細微の注意を要するのてある。

陸軍の軍隊中には現在酒保を設けてあるが、予は之を禁ずべき筈てあると信ずるから、直ちに斷行して貰ひたいと思ふ。禁酒は實に種々雜多なる諸問題の先決問題てある。彼の珠算などの運算に就ても飮酒家は腦髓が鈍いから、敏速に計算する事が出來ぬが、禁酒家は能く之に堪えて、敏活の運算が出來るのてある。之を要するに實業、行政、政治其他凡有方面の衝に當るにしても、禁酒の爲に其の任務を完全に全ふし、飮酒に依りて過失錯誤等の失態を演ずる事は、吾等の始終目擊して居る活ける事實てある。（文責記者在）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

教淫制度廢止の檄

陸軍々醫正　牧野康治

――無國格の醜態――

曰く賣淫國、曰く淫亂國、曰く買淫國。

噫何ぞ其の名の醜なるや。而して公娼國！　何ぞ其の名の公明にして堂々たる……？

世人皆な其の陋習にして害毒あることを知る、反人道、背道德紊風紀害衞生なるとを知ると雖も久しき因襲に囚はれ眩迷醒めずして過ごせるは誠に慨嘆に堪へないてないか。淫事を教ゆる稽古場が世界中の何處にあらう、實に唯だ我日本ある而已てはないか。

政府の許可して公娼なる醜業婦を飼養して男子を陷落する惡場所を國民が恥辱としないのは何故であらう。粗朴な地方人が上京して土產噺として吉原の事を口に出さねば肩身が狹いとは何たる囈言であらう。諸學生が公娼を買はぬ者は仲間外れとされ惡友に誘導されて不得止粒々辛苦の父兄の送金を消費するのは何てあるか。而かも遊廓に遊ぶを榮譽とし衆人廣座の內に淫猥なる噺をして誇りと爲す馬鹿者もある、亦江戶時代より今日まで吉原其の他の遊廓で幾多の罪惡や死傷の行はれたかは世人の屢々耳にする處である。然るにそれを平氣の平左で過ごして來て居る所以は、上下一般に淫靡の劣情に富て居るからではあるまいか。

今や歐米列强と覇を爭ふの秋に當り囚徒に等しき五萬人の公娼と之れに附隨する幾十萬の不生產的人物がある。之れを他の正業に導くは正に政府の執るべき道ではないか。

――根本治療を要す――

現今存娼を主張するものは花柳病の豫防に在りと云ふが、此れ一を知て二を知らざる大なる誤りと云ふべきてある。遊廓は所謂花柳病釀造所てある。一週に一二回の檢黴が何の效があるか、世人は檢黴するを賴みて無毒の者と思ひ警戒を加へずして、終ひに罹病するもの比々之れ有、是れ亦存娼の害ある所以てある。

今公娼と私娼の花柳病統計を見るに殆んど五分々々てある然らば若し私娼の檢黴を嚴にしたら、罹病者の病は著しく減ずるてあらう。左すれば淫病豫防上國辱たる公娼を置く必要は更らに莫いのてある。（私の檢黴意見は「日本一」第二卷第六號に開陳せり）

私娼撲滅などと云ふ枝葉の小刀細工をせずして、凡ゆる方面に有害なる公娼を撲滅しないのは大なる誤れる方針である大袈裟なる公許賣淫所、大規模なる墮落敎習所が隨所の都

邑に在るが爲めに、全然なき地方の質朴なる農民までも淫蕩を促すのである。

政治家、學者、教育家殊に衞生家なるものが全く陋習に慣れて無頓著で居るのは、恰も臭いもの身知らずて糞壺の蛆虫同然と云はれても、酷評を甘受しなければなるまい。

――○○○○○改造の最大急務――

私は明治二十二年憲法發布の二月より廢娼を絶叫し、伊藤公首相以來の大臣に建議したが採用せられずして今日に至り邦家の爲め長大息を爲すこと幾度なるを知らないのである。

一昨年私が歐米視察中、第四十一議會に横山代議士から公娼制度廢止に付て質問ありしも政府の不得要領なる答辯に葬られたるは誠に遺憾であつた。此の質問は主として人身賣買人權無視の點に在つて、現代の主張たる花柳病豫防上有害なることを喝破しなかつたことは大に手落で又誠に手温き質問であつた。今は質問の時期ではない理論も辯解も説明も要らぬ單刀直入廢娼を斷行すればよいのである。

近來の某縣に於ける遊蕩者は獨身者よりも有妻者が過半數を占むと云ふ、是れ公娼あるが爲めに妻子を泣かせて醜樂を遂ぐる醜態と言ふべきではないか。個人に人格なきもの延いて國家の品格なきに至る歐米人の我國を侮辱するも亦公娼制度あるに因るのである。幾ら武力に強くも國格なきものは猛獸に等しいではないか、性慾は自然であるから自覺自制克己心の無い遊蕩漢は陰に行ふを妨げず私娼取締に就ては別に良案ありてある。

改造語の多い今日獨り公娼改造を唱ふる者無きは、國民の良心皆痲痺せるの證左ではないか。故に興奮劑を處して昏睡狀態より覺醒せしむるは日本國改造の最大急務ではないか。檻裏の動物に等しい同胞婦女を救ひ惡制度を廢絶するの俠氣は我三千餘萬の男子にないであらうか。

――○○○○○三千餘萬の婦人に――

男子の婦女を侮辱し奴隷視する惡習は、動物視されて居る公娼あるに基因するのである、好個の實例は吾が國が離婚の多きことと世界一なるを見ても明かではないか。男女同等たるべき五萬餘の婦女が囚徒に等しい悲境に沈淪するを平氣で婦人諸氏は看過し得るであらうか。

貞操は獨り婦人の負擔ではない、男子も須らく重んじなければならない、今の行政制度は單に婦女のみを責めて處罰し誘惑者たる男子を放任するは、寔に偏頗極まる處置ではないか、宜しく改造すべきである。婦人參政權請願も良い有毒男子の結婚拒絶も良い、去乍道德を紊し風紀を破り衞生を害する源泉を廢絶せねば效果はない。

――○○○○○國格を擧げよ――

七千萬の同胞諸子よ、三百年來の陋習を打破し天地の公道に順ひ諸外國の嗤嘲侮辱を斥くるに努めよ、廢娼斷行は小は府縣會に、大は國會に請願すべきである。廢娼は敢て能はざるに非ずして爲さゞるのである。而して我國格を向上せしめ此の美なる山川湖沼を有する一等國をして益々美ならしめよ醜樂に耽つて國格を失ひ淫病蔓延して體力弱し噫奈何此敎淫制度何。敢て四方に檄するものである。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

苦る輪物語（一）

前某醫院看護婦　田口和子

【一】

或る夕べ「私等の話は碌でもない事計りだけれど」と濃艶な大阪辯の小睿さんは泪ながらに語り續けた。

人の怨みといふは眞んまに恐わいもんだつせ人に一念の無い事は實際におまへんわ幽靈なんて――幽靈なんて今はある筈はないと、自分ても打ち消してるのやけど、私今ても時々惱まされては、病氣になつて寢就くもんやさかい氣味が惡ふうて私小さい時から學問は好きやつたのやが、お繼母あはんが毎日の樣に藝者になれ〳〵つて仕方がないさかい、尋常科も中途て退がり土地ては、私がいやだ云ふて朝鮮に賣られましたんや行つて見ると藝は扨ておいて、直きに、客を取らせられ眞んまに、泣いて〳〵泣き暮らしたのが、何十日だつたか知れまへんが泣いたかつて旅の空て誰一人り、かまつてくれ人もなし、いろんな愚痴もこぼしたが今更ら仕方がないので、泣き寢入りになつて了ふた有樣……

其の時分から、藤井さんと云ふて內地から移つて金を儲けた其土地ては物持ちに徧り息子が、私をよく上げて吳れはつた、それから、暫らく經て又田原と云ふ某る役所の重役が來る樣になり、私て見ると、田原さんは、偉い人て、お金使ひも荒いさかい。客としたら可いけれど、奧さんや子供があるから、先き〳〵、見込みが立たゐ。

藤井さんわ、家住みだけれど大きな家の息子て、お嫁さんはなし、先きの見込がある、と云ふわけや。

そや、もんて、私は藤非さんが、お父はんに叱られて、來られない時は「お金等持たんでも、可いから」と電話をかけたり、態々迎ひに遣たりして、連れて來、私の着物を質に入れてまて一生懸命に盡して居たんやはほうした所、田原さんが續いて「怎ふしても、私を身受けするんだ」と云つて主人に掛け合つたもんやさかいに、私も开ふなつて見ると、淺間しい商賣が早く止めたさにつひ、その方に氣を、引込まれそふに成つたさかい、まあこんどは、藤非さんが氣が氣てなく日頃から軀の弱かつた所に、恁んな事て心配し遂々病氣になつて、寢込んで、しまはり、肺が惡くなつて、死んて了はつたの……

それが、普通の死に方ならいゝけどそれまて二た月程の間と云ふもの御飯も碌に食べずに、寢てた者が、急に、着物出せ帶を出せ、と看護の者に云ひつけて、「今つから大和(遊女屋)へ行くんだと云つてひどく興奮し家人の止めるを振り拂つて戶口まて出たが、こゝまて來ると、パツタリ仆れて、そのまゝ息が絕へたんだす皆が驚ろいて醫者が來て軀を、診たら、內懷ろに五六寸からの仕込み小刀を、入れてゐたんだすとへな、私を殺して、自分も死ぬ積りだつたのやろふ、と皆も云つてだしたんだつせ私も丁度その時、何處と云つて取り止めはないが、體の具合が惡くて寢てましたんや、そして藤井さんの身にそないな事のあつた時私は、大和て氣を失ひ熱が出て、藤井さんの事計り饒舌り、十日餘りと云ふもの、何も知らなかつた。斯ふして、熱は漸ふ取れたがこんどは意識が明晰りしてるのに、眼を閉ぶれば、藤井さんが來て、聲をかけたり搖すぶり起したりして、仕樣がないのだつせ、だから、お座敷ても、急に「藤井さん、早く、田原を殺して下さいよ、そして、二人りて死にませう一緒に！ヒ……ヘ……」笑ひ出したり、廊下に出て「藤非さん〳〵、お待ちなはれやア、」と呼び乍ら裏口の方までも、追かけて出たり、或時は散步に、行くと云つて、海岸に出てて藤非さん、死にませう、私どふしても、生きたかありません」と言つて波の中へザブ〳〵這入り込んで行き、着物を濕ぼりに濡らしたとか……

「私あの時、近所の漁師が來て、助けてくれなんだら、眞んまに何ふなつたか知れまへん、斯ふ云ふ具合て田原はんは勿論客と云ふ客みんま減つて了ひ、主人も此家へは置かれぬと云つて、恰度こつちの、お父はん(樓主)が見え相談づくて私を仕代へさしたんや、私も「所ても變ると少しは、可だらふ思ふて、來は、したもの、矢張り、餘程氣は付けても、時々起るのやわ！　それにあちらよりも、まだ、食べ物や、着る物、布團等はしどいもの　私、到底も長命は出來ないと、眞まに开ふ、思ひまつさあ……」と、沁々と語つて長い息を漏らした。

彼の女は其の翌朝は御飯も食べずに手拭て鉢卷をして、床に就いて居た。冗談

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

に私が「藤井さんが出たの？」と云へば、暫くかぶりを振つて、頬笑み乍ら「いゝえ！そふやないけど今朝は御飯頂きたふおまへんネエ！」と云つて、休む事を請求したのである。

私は、彼女を慰めてやつたものゝ、かくまで若い女を悩ます、此の罪は、何所の誰にあるかと思つた時、泪を流さずにはゐられなかつた。

（二）

可成り斯界に長けた、芳蝶姐は、小春さんの後を引繼いて私だつて「初めつから恁んなにお饒舌りじやなかつたのよ、其證據には、小學校へ行つてた時に、村長様から親孝行の御褒状を頂いて、今にそれ丈けは、客の寫眞と一緒にならべてあるから……」と大得意「ホ……それだけはまてはいゝけども、客の寫眞と一緒には可愛そふだは、御褒美が泣いてよ」と云へば「だつて、仕様がないぢやないの！　斯んな商賣してちやあそれに妙なもんで、客を釣り寄せるのに、そりやあ、都合がいゝの、私の性質が、その時代とは、天と地の違ひだけれどもネ、客の方では、それを見て「君は、出來が可んだれ」と直ぐにまひるもんだもの」と長い舌を、ペロリけれども彼女にも泪の物語はある。

「私の御褒美頂いたのも母を、看護し乍ら、勉強したからですよ、母の體が弱くて、長い間床に就いてたもんですだから好きな學校も今少し、と云ふ所で、退げられ、長崎の伯母が來て「お前位なら、一人前の仕事出來る。私の家に來て暫らく手傳つて見るが可い」と云つて、病人の母を小さい、弟と妹に頼み、泣き乍らついて行つたら、そこは、女郎屋だつたの。

田舍から出立ての私には、姐さん等が、朝から晩まで身綺ろひ計りして綺麗な着物に長い袖、呑氣そうな、生活。斯んな事が眞んとに、羨やましい様になり、使ひ走りをする間には、三味を習つたり、踊を習つたりしてゐるうち、叔父と伯母とは、私の嫌やがらぬのを見込んで何時の間にか惡周旋屋に頼み、久留米の○○と云ふ貸座敷へ、連れて往き「こゝで辛抱するんだよお金は、國元のお母さんに届けてやるからね」と、親切らしく云つて五百圓の金を持つて歸つて了つたのさ後で聞けば、一文も家に届いてはゐなかつたのよ……

……

その時の私は柄こそ大きかつたがまだ十七だもの、行つた其夜からもふ客を取れ〳〵と、追められて吃驚し、恐ろしさと、情けなさから、逃げたのョ、長崎の伯母の家に、「[illegible]り使は何んなに、辛くてもするから、此家において、呉れ」と、頼んだが、此家も女郎屋だ、客を取るなら、置かふ…だが、お前は現在の姪だから此家では細づいんだよ…」と、此度は、近い所では戻るから、遠い所へと言つて、忘れもしない、此所からは、七十の爺を雇つて、連れてゆかれた、山口の遊廓である。目的の地に、着きは着いたものゝ男が來ると恐ろし氣に逃げ廻り詫せば泣ぎ出すので、顔見せが利かず、長い間隨分苦しい、辛い目に遭はされ通したわよ、それでもまだ隙があれば、怎かして逃げ出そうと焦慮つた、けれど考へて見ると、一度身を落したからには世間だつて、堅氣扱ひはして呉れない、まゝよ斯ふなりやあ、ドン底までと、自棄で夫れからは人を怨み世を憎む事が一層に烈しくなり、自分乍ら恐ろしい位の勢で墮落をしたのよ、

斯ふなると、自分から進んで、男を買ふ、欺しもする代りには欺されもし、一とつ遊廓には居堪まらずに仕代へは、何處其處の差別なしにする、借金は殖へる流れ〳〵て、迷ひ戻つたのが此家と云ふ譯さ。

私の今居る家は、割合に樂なんだわ、朝十時でも十二時でも起きられるし「御飯さへ、食べなければ、一日寢てゐても、いゝ」つて、主婦さんが言ふんですもの」と、

寢む〳〵を唯一つの樂しみとしてる。身の爲には少とも良くはありませんよ、自墮落になつた體は一層弛んで、怠惰るんですもの、まだ早くから起されて拭き掃除する方が、身の爲めには、よふ御座んすけど、そこが、素人さんと違ひ全るて反對の商賣ですから、寢ないでゐると、體がやり切りなれないですは。人形見たいに坐らせられて、本でも見様ものなら、取つて、庭に放られるし、居眠りをすれば、怒鳴られるし。仕方がないので、駄菓子などを、袂に忍ばせて、しやぶるのよ。

斯ふすりやあ、晝間食べずに過した空き腹も助かるし居眠りも防がれるでせう。初めての妓なんか眞んとに、惨めな物だはよ、客は「金で買つてるんだ」と云ふ事が頭にあるもんだから、一寸だつて、自分の思ふまゝにはさせもせずさあ…、碌に醉ひどれ計り、と云ふてもいゝ位だから…、夜中は、眠られるもんではないのよ。』と自棄に煙管を投げ出す。

私等はまさかお上みてこんな弱い者苛の事を仕向けてゐるのではないと思ふけれど樓主側や、警察側では「政府の公認してある職業だ…（畏くも）一天萬上の君が、之を支配し給ふてるのだ」と、平氣を通り越して大威張りなんだもの、全く呆れるの外はない。

夫れにしても、如何に、多くの弊害あるかを氣付かれない筈だと思ふと罪悪と知りつゝ許るす法はない筈だ同じ、大切な國民を恐れ多くも陛下の赤子をそして之を治むる筈の政府が恁して、斯な無理な政治するのでせう。芳蝶さんにも、三年越し上る坂上と云ふ二十二三の青年と同年輩の三隅と云ふ青年があつた。想ひ出したやうに芳蝶さんは『何ちらも私より年下なんですもの、弟の様なもんですは、それにどちらも、眞劔で馬鹿な意地を張り乍らも、通つて來るんだから、滑稽でせう、妙な物で向ふが餘り、眞面目になつて、仕向けると何だか、欺すのが氣の毒になつて、來るわ坂上さんなんか、私を、身受けする爲めに眞の妹を賣ろふとして國元から、此の町の某…旅館まで連れ出して周旋人に頼んで、千圓近い金を造らへ様と企んだのよ、けれども、兩親が承諾をせず、密かに印を盗み出して、契約書など押印してすんでに妹を地獄に落そふとしたのそしたら其の夜妹は怨に怖氣づいて隙を狙ひ自家に飛び歸つて、事の次第を父に告げたので、お父ふさんは、大變に、怒り、又心配して、遂う〳〵病氣になつたんですつて……

そしたら坂上さんの云ふ事が可じやないの。死んで了へばいゝ、すれば、後は僕の天下だから、君を身受けするのに都合がいゝや……」だつて、所がお父ふさんの病氣は癒つてそして金も自由にならなくなつたの。

讀者の聲

□廢娼問題は如何

光 望 生

廓清讀者諸君、余は誌上に於て諸君と御無沙汰中することと既に六星霜、其間時勢は急速力の進歩變遷を來たして宛然隔世の觀あり、見よ、只今世間に於て最も盛んに宣傳鼓吹されつゝある普選問題の如き、勞働問題の如き或は婦人問題の如き何れも從來時期尙早若くは危險思想の名の下に葬られて亦心ある人士の公然論議するをさへ憚られつゝありしものであるまいか、あゝ强大なるものよ汝の名は實に時世の力なるかなと讃嘆せざるを得ない、斯くも天涯地角津々浦々までも世界改造の叫ばるゝの秋、民衆の自覺と共に著しく人權觀念の尊重せられ來るの時なるに吾が廢娼問題は如何立憲政治の基礎は人權觀念の上に置く、況や人權觀念を離れて立憲政治も世界改造もあつたものでなし、政治上に於ける普通選擧の要求、經濟上に於ける勞働者權利伸張運動と云へ何れも然らざるはなし、而して世人が止むを得ざる罪惡として是認し且つ存置せしめつゝある公娼制度の如き實に此の人權觀念の破壞者にして、亦人道正義の公敵にあらざるなきか、請ふ、世間普選問題、勞働問題、婦人問題幾多の改造運動に共鳴するの人よ、實に廢娼問題なるものは汝が足下に横はる一大謎である、然り解き易き謎である、來れ、來りて之を解かざるべからず、解き得たる者は更に授けざるべからず、若し然らざる者は無智無定見の附和雷同者か乃至は感情のみに銳くして意志薄弱なる群衆心理の盲動者の類である、倶に吾人の與みする能はざる徒てある。

吾が廓清、孤軍奮鬪十星霜、而して廢娼問題宣傳に從ふ亦十年一日の如し、然るに何ぞや、世間廢娼問題は依然として廓清會の廢娼問題なるが如し抑も廢娼問題たるや廓清會の廢娼問題に非らず基督教の廢娼問題に非らず亦救世軍の廢娼問題にも非らずして實に天下の廢娼問題である、否斯くあらねばならぬのではないか、あゝ賣淫公認國！　吾が帝國をして此の一大國辱より救ふの途は廢娼の斷行より外はない。

□廓清の皆様へ

但村むつ子

「廓清」の御皆様いよ／＼御活動うれしく存上候、自分輩多年御誌拜讀、與へらるゝところ多く每月其來るを鶴首致居候次第に候、就ては人にも進めよろこびを分ち度稍々機會の利用につとめ居り候も一向意に不任恥ぢ居候處今度私共にて小い婦人の集團を作り候に付此人々の中未だ御誌の存在さへ御存知なき方も多々ある様子に候間お金にも時間にも私共より多くの餘裕ある方に是非購讀を進め度候間即ち小いがま口より金貳圓を送り候、本月號十部有之候はゞ十四日の我々の集り迄に間に合ふよう御送り下され度候

□戰は繼續す

小 林 光 雄

伊藤先生

一紙片に書する非禮を何卒御許し下さい。

私は月々書店より購求する雜誌「廓清」紙上の先生の論說を通じて先生の高潔なる人格をお慕ひ致して居りましたところが先日は美土代町青年會館に於て初めて愛する先生の謦咳に接する事が出來何とも云へぬ喜悅てした。私は塵埃にも等しい足らぬ者ては御座いますが現在は救世軍の兵士として、且つ又曾根正造氏等の城南基督信徒團の一信徒として亡びゆく同胞を救に導くため古のソドム、ゴモラの如く腐敗墮落その極に達したる現代社會を廓清せんため、(言葉が大きいてすが)努力しつゝある者てす、然して、此の際特別に私は廓清會に入會すべき必要を認めました。私の如き何等特別なる正義主張をも有しない極めて貧者ながら、何卒美しきグループの一員に加はることをお許し下さいますやう。切に御願ひ致します。

愛する先生よ私共の理想は確に實現され得ると信じます。

勝利は間近てす、平和が來たと申しましても、それは軍國主義や新聞記者の云ふ所謂「平和」てす、眞實の平和は決して參りません、人々が己の如く他人を愛するやうな美しい心になられば、少くともそうなられば決して平和は永遠に來ないと思ひます。

憎むべき人道のバチルスを撲滅すべく大に戰はうてはありませんか、美しきかな廓清會の主義主張！快なるかなその運動!!

先生の御自愛を切に祈るものです。

宮田脩氏の宣言書

──聲　明──

世界の運動に伴ふ社會改造の機運は國民全般の上に眞摯な氣分と忠實な努力とを强要して居ります從て國家の經營は官民を問はず老若を論ぜず國を擧げて眞劍に事に當らなければなりません

偶々此時に當つて區內の有志并に同志の先輩知友から來るべき總選擧の衆議院議員候補者たるべき懇切なる勸誘を受けました、由來私は任に教育にあるもの、自ら他に爲すべきものが多いのてすが然し現代は此の勸誘を却けるべく餘りに切迫して居ります、此に自ら揣らず深く此の勸誘を受け、若し多數輿望の集まるものがあれば、駑馬に鞭つて至誠を盡すことに決心いたしました、

然し私は區民諸君に强て、無理な勝算を期さうとする者てはありません、絶對の理想選擧を恪守して一に區民諸君の自由意志に待ちたいと思ふ者てあります

此に廣く諸君の御諒解を得たいために立候補の次第を發表いたします

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

編輯之後

○本部にては 三月二十八日神田美土代町靑年會館に於て、定例春季大演說會を開催した。

此の日黃昏るゝ頃よりは、寒さ一入ほ身に浸みて往還の人の數さえ恒よりは尠なく見えたるに、定刻の六時の開會間際には、靑年會館の周圍は聽かんとする人々の集まりにて犇めき合ひ、宛ら人もて山を築きたるにも似て、一度入場口を開くや此れ等の人々は、ドッと一時に潮の寄するが如く、場內に流れ込み須叟の間に流石の會館のホールも聽衆を以て埋められた。時に午後六時。本會主事伊藤秀吉氏は、破るゝ許りの拍手に迎えられて壇に登り、淫蕩の風の國土に靡けるを慨し、言々熱あり、句々響あり、鬼人も爲めに慟哭し、惰夫も爲めに、奮起せずんば休まざるの狀ありて、開會は玆に宣せられたのである。

本會々長島田三郎氏は、百雷一時に落つるが如き拍手と喝采裡に登壇せられ『國民の品位』といふ演題のもとに、氏獨特の雄辯滔々數千萬言、初め咽喉を害して居るからとの御挨拶であつたが、懸河の辯を振はるゝこと實に二時間。然かも聽衆をして猶ほ短かきを喞たしむるまでに多大の感興を與へて降壇せられた。次に登壇せられた救世軍の山室大佐は、別項載錄せるが如き『其の後の婦人運動』に就いて例を卑近に採り皮肉諷刺諧謔の陳列をなして、人を笑はしめる裏ちに不知不識の間に聽衆を魅し、人道の本義へ向つての指針を敎えられた處は、流石はお手のものである。

山室氏の後を享けて『政界の廓淸と理想選擧』といふ題下に宮田脩氏は、一時間餘に亘つて、選擧界の弊を闡明し今日の政界を混沌たる狀態に陷らしめたるは政商輩の跋扈であり、國民の無自覺なる結果であると實際問題に就き、或は學理上より論斷せられて今日の政界を救濟するの方法としては國民各自の自覺のもとに先づ選擧の廓淸を期することが順序であると結ばれた處は天晴れ理想選擧を標榜して、此の情衛錯雜せる選擧界に、獨り毅然大旆を飜し、恰も萬綠叢中紅一點の異彩を放つて居らるゝ候補援の色鮮かに賴母しくも思はれた。

最後に本會副會長安部磯雄氏は『新マルサス主義』に就いて其の深遠なる薀蓄を講演せらるゝ筈てあつたが時間の餘りに遲くなつた爲め遺憾ながら、中止するの休むなきに至つたのは、主催者のみならず多數聽衆諸子も俱に殘念に思ひ落膽せられたことてあつた。時に十時を過ぐる三十分。和氣靄々裡に散會した。

○廓淸會麻布支部 にては、麻布十番幼稚園に於て去る四月二日その發會式を擧げた。

而して當日選擧せる支部役員は、左の如く決定した

支部長　興業銀行總裁　志立鐵次郞
副部長　向　軍治
幹　事　酒井　大作
同　曾根　正藏

以上諸氏は當日交々壇上に熱辯を振はれた本部よりは伊藤主事臨席して感想を述べ頗る盛會であつた。

○濱松支部 四月八日濱松市高町キリスト敎會內にその總會を開き役員の改選を行ふ。

その結果は左の通りてある。

支部長　濱名郡長　伊藤　政雄
副部長　濱松署長　鈴木勝太郞
同　ハーバーコーツ
同　外山　孝平

○幹　事

菅沼　岩藏　磯原　源重　門井藤二郎
高松　明　加藤　七郎

○評議員

二十六名　氏名前略す。

○本誌發行日取返へしと本部事務整理の爲め本部では目下非常の多忙を極めて居る。從つて本號は、瓦全ならんよりは寧ろ玉碎を可とし、拙速を主として發行を急いだ結果體裁その他に於ても、讀者諸氏の滿足を得る事は至難てあらう。

頁數は多少減少をして居る。毎號お馴染の伊藤主事の廓淸時言も載つて居ない。——諸子に採つては何となく物足りない感じも爲ることてあらうし、また本部としても洵に申譯ない次第てある。けれども、今回丈けは忍んで頂かれはならない。その爲めに約半ケ月の發行日は取り返へし得たのてあるから、その代り五月號は充分腕に撚りを掛けて、益々內容の充實を計り諸子の御期待に必ず悖らないやうに努める考へてあるそれを以て宥して頂き度いのてある。

若し夫れ、本月號の內容に就いてその概要を摘記すれば、伊藤主事の廓淸時言は勿論、安部副會長の大論文山脇博士の男女共學論の大雄編、元田作之進氏の『大地に接吻す』といふ卓說その他諸名氏の寄稿積まれて旣に編輯室に山を爲して居る。加之山室軍平氏の『其の後の婦人運動』の續編は、益佳境に入つて讀者諸子の大歡迎裡に迎えらるゝことてあらう。それ故諸子に於ても今後の本部の努力に對して、多大のお援を賜らんこと切に希望に堪えないのてある。

希くば諸子の地方々々に起れる。日常の事柄に就いても御投稿を賜らば幸ひてある。

各地方の諸子と本部との間に連絡のあることに於て完全なる協力を得ることが出來、軈ては我々の運動に大なる力を添えることゝなるのてある。

大正九年四月卅日印刷　（毎月一回十日發行）
大正九年四月卅日發行　（一部定價金拾八錢）

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤　秀吉
印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保　民生
印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社
發行所　神田區表猿樂町十番地　廓淸會發行所
電話神田四〇二〇番
振替東京二七〇七二番

●廣告主へ御用の際は必ず雜誌「廓清」によ る旨御申越を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

→Dr. K. TAKATA←

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

診察毎朝及毎夕　但祭日及日曜の他

院長　診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）

電話　九段　一六六二番　一六六三番

東洋內科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察毎日午後　但祭日及日曜の他

世界的の純良齒磨

クラブ齒磨

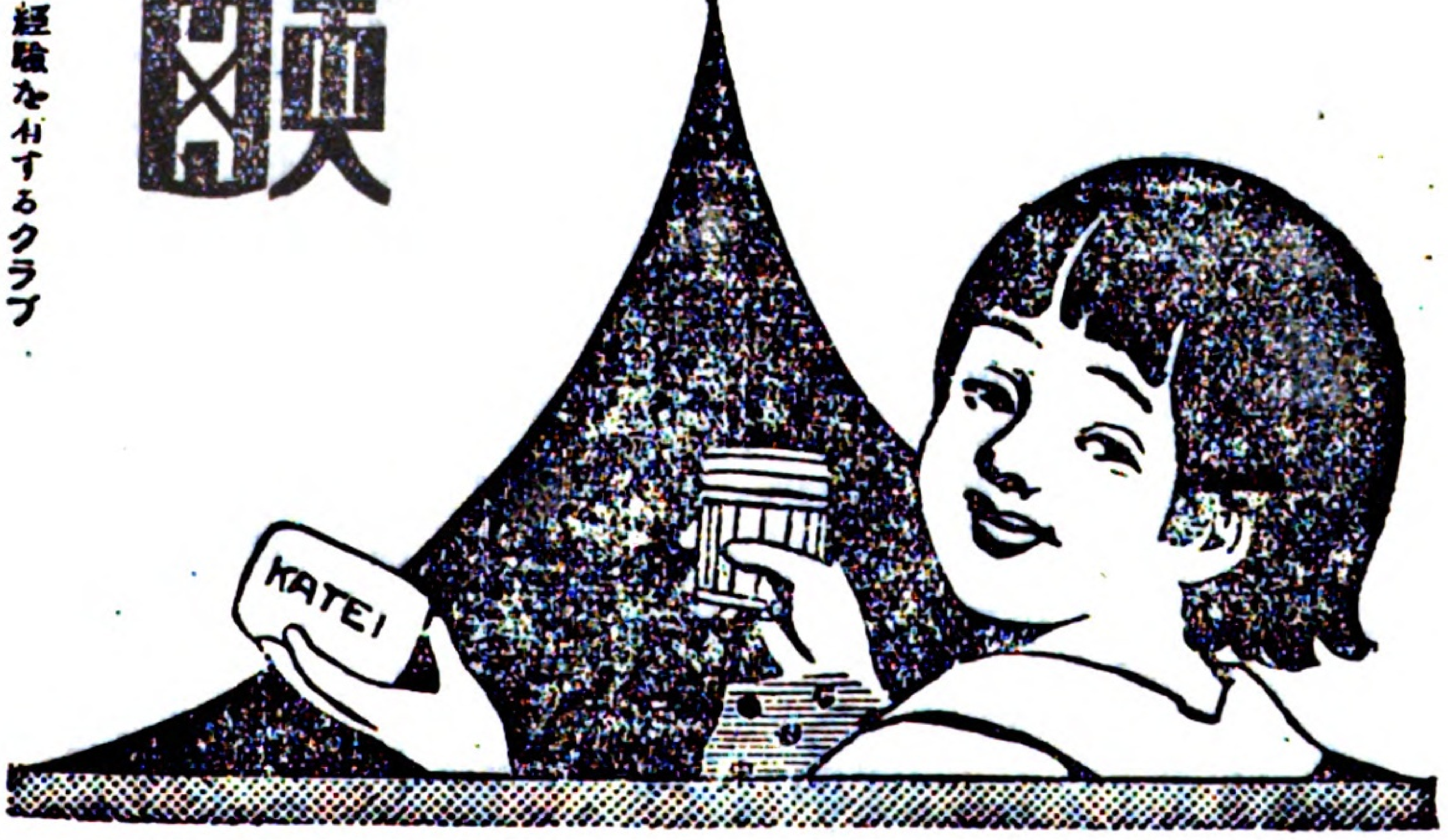
智識階級の愛用品（フェヴォリット）

東洋一の化粧品工場で出來た世界的の純良石鹼

生地を美しくする石鹼―肌を荒さぬ石鹼―花の香身に沁む石鹼

カテイ石鹼

純良石鹼の製造に四十餘中の經驗を有するクラブ本店招聘技師ウエームスウエンライト氏製造擔任



（大正七年十一月一日第三種郵便物認可
大正九年四月三十日印刷納本）（毎月一回十日發行）

大賣捌所
東京堂、東海堂、上田屋、警醒社、北隆館、良明堂、

定價壹冊金拾八錢